

対象校No.

注4

学校コード F127310108063

注3

設置年度 令和 6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

大阪大谷大学 人間社会学部 心理・福祉学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

学校法人大谷学園
 令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	本部事務局 総務課 総務係
職名・氏名	ヨシダ サトシ 吉田 作登司
電話番号	06-6661-0381 (内線212)
(夜間)	06-6661-0382 (内線212)
e-mail	jinji-h@osaka-ohtani.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院 ・・・」と記入してください。
 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
 ()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
 例) ○○大学 △△学部 □□学科
 (旧名称: ◇◇学科 (平成◇◇年度より学科名称変更))
- 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
 例)
 - 大学の設置の場合: 「○○大学」
 - 学部の設置の場合: 「○○大学 △△学部」
 - 学部の学科の設置の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科」
 - 短期大学の学科の設置の場合: 「○○短期大学 △△学科」
 - 大学院設置の場合: 「○○大学大学院」
 - 大学院の研究科の設置の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科」
 - 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻 (修士課程)」
 - 通信教育課程の開設の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科 (通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
 なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
 当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
 該当番号を記載してください。

目次

人間社会学部

ページ	＜心理・福祉学科＞
4	1. 調査対象大学等の概要等
8	2. 授業科目の概要
16	3. 施設・設備の整備状況、経費
18	4. 既設大学等の状況
20	5. 教育研究実施組織の状況
28	6. 附帯事項等に対する履行状況等
30	7. その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人大谷学園

(2) 大 学 名

大阪大谷大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒584-8540

大阪府富田林市錦織北3-11-1

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	サトウ アキラ 左藤 章 令和4年4月1日		
学 長	アサオ ヒロヨシ 浅尾 広良 平成29年12月1日		
学 部 長	ナカムラ マサシ 中村 雅司 令和6年4月1日		
学科長等	コニシ ヒロユキ 小西 宏幸 令和6年4月1日	ハタ ヤスヒロ 秦 康宏 令和6年11月1日	2024/11/1 心理・福祉学科長変更 体調不良のため 変更前 小西 宏幸 変更後 秦 康宏

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
人間社会学部 心理・福祉学科 学士（心理・福祉学）	社会学・社会 福祉学関係 文学関係	4 年	50 人	2年次 人 3年次 人 4年次 人	200 人	—	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。

- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期																
A 入学定員	人 — （—） [—]	—																
志願者数	— （—） [—]	133 [1]	118 [1]	118 [1]	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳													
受験者数	— （—） [—]	118 [1]	112 [0]	112 [0]	0.87倍	—												
合格者数	— （—） [—]	65 [1]	68 [0]	68 [0]														
B 入学者数	— （—） [—]	41 [0]	45 [0]	45 [0]														
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.82	0.90	0.90				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・転入学生は記入しないでください。
- ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
- ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- ・算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」JAC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	—	—	—	—	—	—	—	—	41	—	45	—	令和7年度2年次 転入学者1名（学部内転入学）		
	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	(—)	(—)	
2年次			—	—	—	—	—	—	—	—	42	—			
			[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	(—)	(—)	
3年次					—	—	—	—	—	—	—	—			
					[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	(—)	(—)	
4年次							—	—	—	—	—	—			
							[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	[—]	(—)	(—)	
計	[]		[]		[]		[]		41		87				
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)	
			入学した年度	退学者数			
				うち留学生数			
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人		
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人		
			令和3年度	- 人	- 人		
令和4年度	人	人	令和2年度	人	人		
			令和3年度	人	人		
			令和4年度	人	人		
令和5年度	人	人	令和2年度	人	人		
			令和3年度	人	人		
			令和4年度	人	人		
			令和5年度	人	人		
令和6年度	41 人	0 人	令和2年度	人	人		
			令和3年度	人	人		
			令和4年度	人	人		
			令和5年度	人	人		
			令和6年度	0 人	0 人		
令和7年度	87 人	0 人	令和2年度	人	人		
			令和3年度	人	人		
			令和4年度	人	人		
			令和5年度	人	人		
			令和6年度	0 人	0 人		
			令和7年度	0 人	0 人		
合 計	0 人		0 人	0 人			

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・修学意欲の低下・学力不足・他の教育機関への入学・転学・海外留学
・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{87} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<人間社会学部 心理・福祉学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次		単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担	
				必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教育科目 (必修)	宗教学A	1前		2								1	
	宗教学B	1後		2								1	
	コンピュータ技術基礎 I	1前		2								1	
	キャリア概論	1前		1								1	
	新入生セミナー	1前		1			4	5	2			1	
	いのちを共に考える	3通		1								1	
小計 (6科目)		—		9	0	0	4	5	2	0	0	4	
共通教育科目 (選択必修)	英語A(コミュニケーション)	1前			1							6	
	英語B(コミュニケーション)	1後			1							6	
	英語A(総合)	2前			1							4	
	英語B(総合)	2後			1							4	
	英会話A	2前			1							1	
	英会話B	2後			1							1	
	英米文化を学ぶ	2前			2							1	
	メディアの英語	3前			2							1	
外国语科目 (ドイツ語)	ドイツ語入門A	1前			1							3	
	ドイツ語入門B	1後			1							3	
	ドイツ語会話A	2前			1							3	
	ドイツ語会話B	2後			1							3	
	ドイツ文化を学ぶ	2前			2							1	
	フランス語入門A	1前			1							3	
	フランス語入門B	1後			1							3	
	フランス語会話A	2前			1							3	
	フランス語会話B	2後			1							3	
	フランス文化を学ぶ	2前			2							1	
外国语科目 (中国語)	中国語入門A	1前			1							6	
	中国語入門B	1後			1							6	
	中国語会話A	2前			1							6	
	中国語会話B	2後			1							6	
	中国文化を学ぶ	2前			2							1	
	朝鮮語入門A	1前			1							5	
外国语科目 (朝鮮語)	朝鮮語入門B	1後			1							5	
	朝鮮語会話A	2前			1							5	
	朝鮮語会話B	2後			1							5	
	朝鮮文化を学ぶ	2前			2							1	
	日本語 I	1前			1							1	
	日本語 II	1後			1							1	
外国语科目 (日本語)	日本文化を学ぶ	2前			1							1	
	小計 (31科目)	—		0	37	0	0	0	0	0	0	30	
	体育(講義を含む)	1後			2							2	
	小計 (1科目)	—		0	2	0	0	0	0	0	0	2	
	音楽	1前			2							1	
	考古学	1前			2							1	
人文科学系 (選択)	西洋史学	1前			2							1	
	哲学	1前			2							1	
	東洋史学	1前			2							1	
	同和教育	1前			2							2	
	日本史学	1後			2							1	
	日本文化	1後			2							2	
	日本文学	1後			2							1	
	美術史	1後			2							1	
	仏教学	1後			2							1	
	文化人類学	1前			2							1	
	文章表現	1前・後			2							2	
	昔話研究	1前・後			2							1	
	倫理学	1後			2							1	
	ことばの科学	2前			2							1	
	日本の歌謡	2前・後			2							1	
	比較文学	2後			2							1	
	小計 (18科目)	—		0	36	0	0	0	0	0	0	18	
社会科学系 (選択)	くらしと社会保障	1前			2							1	
	経済と社会	1後			2							1	
	社会学入門	1前			2							1	
	現代社会を学ぶ	1後			2							1	
	日本国憲法	1前			2							1	
	福祉教育論	1前			2							1	
	法学	1後			2							1	
	防災入門	1後			2							1	
	メディア論	1前			2							1	
	小計 (9科目)	—		0	18	0	1	0	0	0	0	6	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員員数 を教員員数 くへ助手以外	
				必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教育科目 (必修)	宗教学A	1前		2								1	
	宗教学B	1後		2								1	
	コンピュータ技術基礎 I	1前		2								1	
	キャリア概論	1前		1								1	
	情報リテラシー	1前		1								2	
	いのちを共に考える	3通		1								1	
小計 (6科目)		—		9	0	0	0	0	0	0	0	5	

自然科学系	宇宙・地球・生命の歴史	1前		2					1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	くらしと化学	1後		2					1	
	現代科学論	1後		2					1	
	コンピュータ技術基礎 II	1後		2					1	
	自然科学への誘い	1前		2					5	
	数学への誘い	1前		2					1	
	生活科学	1前		2					1	
	生命科学入門	1前		2					2	
	統計学 I	1後		2					1	
	ヒトと環境	1後		2					1	
	自然科学史	2後		2					1	
	統計学 II	2前		2					1	
小計 (12科目)		—	0	24	0	0	0	0	14	
英語教育科目(選択)	ロジカルシンキング	1前		2					1	3 3
	ロジカルコミュニケーション	1後		2					1	
	社会教養基礎	2前		2					1	
	数学教養基礎	2後		2					1	
	キャリアデザイン	1通		2		1			1	
	インターンシップ入門	2前		1					1	
	簿記入門	1前		2					1	
	自治体研究	3前		2					1	
	就活力 I	3前		1					1	
	就活力 II	3後		1					1	
	採用研究 (民間企業)	3後		1					1	
	採用研究 (公務員)	3前		1				2	2	
	TOEIC Practice A	1前		1				1	1	
	TOEIC Practice B	1後		1				1	1	
	海外研修A (英語圏)	1前・後		2				3	2	
	海外研修B (英語圏)	1前・後		2				3	2	
	海外研修A (朝鮮語圏)	1前・後		2				1	1	
	海外研修B (朝鮮語圏)	1前・後		2				1	1	
小計 (18科目)		—	0	29	0	0	1	0	0	
教職科目	教職基礎社会	3前		2					1	1 1 1 1 1 1 3 3 5
	教職文章表現	3前		2					1	
	教職総合ベーシック I	1後		2					1	
	教職総合ベーシック II	1後		2					1	
	教職総合アドバンス I	3前		2					1	
	教職総合アドバンス II	3前		2					1	
	教職直前対策	3前		2				3	3	
	教職教養対策	3後		2				3	3	
	教育インターンシップ I	2通		1				4	5	
	教育インターンシップ II	3通		1				4	5	
	学校教育演習 I	3後		2				2	2	
	学校教育演習 II	4前		2				2	2	
小計 (12科目)		—	0	22	0	0	0	0	6	
専門必修科目	基礎ゼミ I (学習技術)	1通		2		1	5	2		5
	基礎ゼミ II (研究入門)	2通		2		4	5	2		
	人間と社会A	1前		2		1	1		5	
	人間と社会B	1後		2		1	2	1		
	心理・福祉学入門	1前		2		4	5	2		
	ゼミナール I	3通		4		4	5	2		
	ゼミナール II	4通		4		4	5	2		
	卒業研究	4通		4		4	5	2		
小計 (8科目)		—	0	22	0	0	4	5	5	
選択必修科目	基礎コミュニケーション演習	1後		2		1	2	1		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	臨床心理学概論	1前		2		1	1			
	心理学の支援法	1前		2		1				
	発達心理学	1後		2		1				
	福祉心理学	3前		2		1				
	社会福祉概論	1前		2		0	1			
	ソーシャルワークの基盤と専門職 I	1後		2		1				
	地域福祉論 I	2前		2						
	社会福祉政策論	2後		2		1				
	心理・福祉総合演習	3後		2		1	1			
小計 (10科目)		—	0	20	0	4	4	2	0	
専門選択科目	心理学概論	1前		2		1				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	学習・言語心理学	2前		2		1				
	社会・集団・家族心理学 A	2前		2		1				
	感情・人格心理学 I	1後		2		1				
	感情・人格心理学 II	2前		2		1				
	臨床産業・組織心理学	3前		2		1				
	教育心理学	2前・後		2		1				
	臨床教育・学校心理学	3後		2		1				
	公認心理師の職責	2後		2		1				
	行動分析学	2後		1						
	産業心理学	3前		1						
	社会・集団・家族心理学 B	2後		2						
	心理学実験 I A	2前		1						
	心理学実験 I B	2後		1						
	心理調査概論	2前		2						
	心理学統計法	2後		2						
	保育の心理学	2前		2						
	司法・犯罪心理学	2前		1						
	教育相談の理論と実際	3前・後		2		1				
	心理学実験 II	3後		1		1				
	心理学研究法	3前		2		1				
	心理学文献講読	2前		2		1				
	心理的アセスメント	3通		2		1	1			

	心理演習 I	3前	2	1	1				1		心理演習 I	3前	○	2	1	1					
	心理演習 II	3後	2	1	1				1		心理演習 II	3後	○	2	1	1					
	知覚・認知心理学	2後	1		2	3	1		1		知覚・認知心理学	2前	○	2	1	1					
	心理実習	4通	2		1				1		心理実習	4通	○	2	2	2	2				
	神経・生理心理学	2後	1						1		神経・生理心理学	2前	○	1							
	障害者・障害児心理学	3前	2		1				1		障害者・障害児心理学	3前	○	2			1				
	人間性心理学	2前	1			1			1		人間性心理学	2前	○	1		1					
	メンタルヘルスマネジメント演習	2後	1			1			1		メンタルヘルスマネジメント演習	2後	○	1		1					
	健康・医療心理学	2後	2		1				1		健康・医療心理学	2後	○	2		1					
	精神疾患とその治療	3通	2			1			1		精神疾患とその治療	3通	○	2							
	公認心理師の関係行政論	3後	2			1			1		公認心理師の関係行政論	3後	○	2			1				
	キャリア心理学	3前	1			1			1		キャリア心理学	3前	○	1	1	1					
	キャリア心理学演習	3後	1			2	1		1		キャリア心理学演習	3後	○	1	1	1					
	認知行動療法論	3前	1		1				1		認知行動療法論	3前	○	1	1	1					
	精神力動論	3前	1		1				1		精神力動論	3前	○	1	1	1					
	臨床心理学総論	4通	2	2	4	1			1		臨床心理学総論	4通	○	2	3	2	2				
	小計 (39科目)	—	0	64	0	2	4	1	0		小計 (39科目)	—	0	64	0	3	2	2	0	0	6
専門教育科目 コース選択科目	介護概論	1後	2			1			1	専門教育科目 コース選択科目	介護概論	1後	○	2		1					1
	貧困に対する支援	2後	2						1		貧困に対する支援	2後	○	2							1
	高齢者福祉論	2前	2	1					1		高齢者福祉論	2前	○	2		1					1
	障害者福祉論	2前	2	1					1		障害者福祉論	2前	○	2		1	1				1
	子ども家庭福祉論	2前	2			1			1		子ども家庭福祉論	2前	○	2			1				1
	社会保障論 I	2前	2						1		社会保障論 I	2前	○	2							1
	社会保障論 II	2後	2						1		社会保障論 II	2後	○	2							1
	地域福祉論 II	2後	2						1		地域福祉論 II	2後	○	2							1
	ソーシャルワークの理論と方法 I	2前	2	1					1		ソーシャルワークの理論と方法 I	2前	○	2		1					1
	ソーシャルワークの理論と方法 II	2後	2	1					1		ソーシャルワークの理論と方法 II	2後	○	2		1					1
	ソーシャルワーク演習 I	2前・後	2		1				1		ソーシャルワーク演習 I	2前・後	○	2		1	1				1
	ソーシャルワーク演習 II	2前・後	2		1				1		ソーシャルワーク演習 II	2前・後	○	2		1	1				1
	ソーシャルワーク演習 III	2前・後	2		1				1		ソーシャルワーク演習 III	2前・後	○	2		2					1
	ソーシャルワーク演習 IV	2前・後	2		1				1		ソーシャルワーク演習 IV	2前・後	○	2		2					1
	ソーシャルワークの基礎と専門職 II	2前	2		1				1		ソーシャルワークの基礎と専門職 II	2前	○	2		1					1
	ソーシャルワーク実習指導 I	2通	3	1		1			1		ソーシャルワーク実習指導 I	2通	○	3	1	1					1
	人体の構造と機能及び疾病	3後	2			1			1		人体の構造と機能及び疾病	3後	○	2							1
	医療福祉論	3後	2			1			1		医療福祉論	3後	○	2		1					1
	権利擁護と成年後見論	3後	2			1			1		権利擁護と成年後見論	3後	○	2							1
	司法福祉論	3後	2						1		司法福祉論	3後	○	2							1
	社会福祉演習 I	3通	2		1	1			1		社会福祉演習 I	3通	○	2			2				1
	ソーシャルワーク演習 V	3後	2	2	1	1			1		ソーシャルワーク演習 V	3後	○	2	2						1
	ソーシャルワークの理論と方法 III	3前	2						1		ソーシャルワークの理論と方法 III	3前	○	2							1
	ソーシャルワークの理論と方法 IV	3後	2						1		ソーシャルワークの理論と方法 IV	3後	○	2							1
	ソーシャルワーク実習	3通	8	2	1	1			3		ソーシャルワーク実習	3通	○	8	2	2	2				3
	ソーシャルワーク実習指導 II	3前	2	1		1			1		ソーシャルワーク実習指導 II	3前	○	2	1	1	1				1
	ソーシャルワーク実習指導 III	3後	2	1		1			1		ソーシャルワーク実習指導 III	3後	○	2	1	1	1				1
	社会福祉調査論	3後	2		1				1		社会福祉調査論	3後	○	2		1					1
	福祉経営論	3後	2						1		福祉経営論	3後	○	2							1
	精神保健の課題と支援	3後	2			1			1		精神保健の課題と支援	3後	○	2			1				1
	スクールソーシャルワーク論	3後	2			1	1		1		スクールソーシャルワーク論	3後	○	2		2					1
	スクールソーシャルワーク演習	3後	1			1	1		1		スクールソーシャルワーク演習	3後	○	1		2					1
	社会福祉演習 II	4通	2		2	1			1		社会福祉演習 II	4通	○	2		2					1
	スクールソーシャルワーク実習指導	4通	1			1			1		スクールソーシャルワーク実習指導	4通	○	1		1					1
	スクールソーシャルワーク実習	4通	2			1			1		スクールソーシャルワーク実習	4通	○	2		1					1
	小計 (35科目)	—	0	75	0	2	1	1	0		小計 (35科目)	—	0	75	0	2	2	0	0	0	8
社会科学科目 科目群	現代社会学概論	1後	2						3	社会科学科目 科目群	現代社会学概論	1後	○	2							3
	経済学概論A	2前	2																		

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通教育科目（必修）	宗教学A	1後	2							1
	宗教学B	1前	2							1
	コンピュータ技術基礎 I	1前	2							1
	キャリア概論	1前	1			1				1
	新入生セミナー	1前	1			1	5	2		1
	いのちを共に考える	3通	1							1
	小計（6科目）	—	9	0	0	1	5	2	0	4
共通教育科目（選択必修）	英語A(コミュニケーション)	1前		1						6
	英語B(コミュニケーション)	1後		1						6
	英語A(総合)	2前		1						4
	英語B(総合)	2後		1						4
	英会話A	2前		1						1
	英会話B	2後		1						1
	英米文化を学ぶ	2前		2						1
外国语科目（ドイツ語）	メディアの英語	3前		2						1
	ドイツ語入門A	1前		1						3
	ドイツ語入門B	1後		1						3
	ドイツ語会話A	2前		1						3
	ドイツ語会話B	2後		1						3
	ドイツ文化を学ぶ	2前		2						1
	フランス語入門A	1前		1						3
外国语科目（フランス語）	フランス語入門B	1後		1						3
	フランス語会話A	2前		1						3
	フランス語会話B	2後		1						3
	フランス文化を学ぶ	2前		2						1
	中国語入門A	1前		1						6
	中国語入門B	1後		1						6
	中国語会話A	2前		1						6
外国语科目（中国語）	中国語会話B	2後		1						6
	中国文化を学ぶ	2前		2						1
	朝鮮語入門A	1前		1						5
	朝鮮語入門B	1後		1						5
	朝鮮語会話A	2前		1						5
	朝鮮語会話B	2後		1						5
	朝鮮文化を学ぶ	2前		2						1
外国语科目（朝鮮語）	日本語 I (未開講)	1前		1						1
	日本語 II (未開講)	1後		1						1
	日本文化を学ぶ	2前		2						1
	小計（31科目）	—	0	38	0	0	0	0	0	30
	体育（講義を含む）	1後		2						2
	小計（1科目）	—	0	2	0	0	0	0	0	2
	人文科学系									
人文科学系（選択）	音楽	1前		2						1
	考古学	1前		2						1
	西洋史学	1前		2						1
	哲学	1後		2						1
	東洋史学	1前		2						1
	同和教育	1前		2						2
	日本史学	1後		2						1
	日本文化	1後		2						2
	日本文学	1前・後		2						2
	美術史	1後		2						1
	仏教学	1後		2						1
	文化人類学	2前		2						1
	文章表現	1前・後		2						3
	昔話研究	1前・後		2						1
	倫理学	1後		2						1
	ことばの科学	2前		2						1
	日本の歌謡	2前・後		2						1
	比較文学	2後		2						1
	小計（18科目）	—	0	36	0	0	0	0	0	20
社会科学系	くらしと社会保障	1前		2		1				1
	経済と社会	1後		2						1
	社会学入門	1前		2						1
	現代社会を学ぶ	1後		2						1
	日本国憲法	1前		2						1
	福祉教育論	1前		2						1
	法学	1後		2						1
	防災入門	1後		2						1
	メディア論	1前		2						1
	小計（9科目）	—	0	18	0	1	0	0	0	6
自然科学系	宇宙・地球・生命の歴史	1前		2						1
	くらしと化学	1後		2						1
	現代科学論	1後		2						1
	コンピュータ技術基礎 II	1後		2						1
	自然科学への誘い	1前		2						5
	数学への誘い	1前		2						1
	生活科学	1前		2						1
	生命科学入門	1前		2						2
	統計学 I	1後		2						1
	ヒトと環境	1後		2						1
	自然科学史	2後		2						1
	統計学 II	2前		2						1
	小計（12科目）	—	0	24	0	0	0	0	0	14

	認知行動療法論	3前		1		1				
	精神力動論	3前		1		1				
	臨床心理学総論	4通		2		2	4	1		
	小計 (39科目)	—	0	64	0	2	4	1	0	0
専門教育科目 社会福祉コース選択科目	介護概論	1後		2			1			
	貧困に対する支援	2後		2						1
	高齢者福祉論	2前		2		1				
	障害者福祉論	2前		2		1				
	子ども家庭福祉論	2前		2			1			
	社会保障論 I	2前		2						1
	社会保障論 II	2後		2						1
	地域福祉論 II	2後		2						1
	ソーシャルワークの理論と方法 I	2前		2		1				
	ソーシャルワークの理論と方法 II	2後		2		1				
	ソーシャルワーク演習 I	2前・後		2			1			
	ソーシャルワーク演習 II	2前・後		2				1		
	ソーシャルワーク演習 III	2前・後		2					1	
	ソーシャルワーク演習 IV	2前・後		2			1			1
	ソーシャルワークの基盤と専門職 II	2前		2			1	1		
	ソーシャルワーク実習指導 I	2通		3		1		1		
	人体の構造と機能及び疾病	3後		2			1			1
	医療福祉論	3後		2			1			
	権利擁護と成年後見論	3後		2						1
	司法福祉論	3後		2						1
	社会福祉演習 I	3通		2		1	1			
	ソーシャルワーク演習 V	3後		2		2				
	ソーシャルワークの理論と方法 III	3前		2						1
	ソーシャルワークの理論と方法 IV	3後		2						1
	ソーシャルワーク実習	3通		8		2	1	1		3
	ソーシャルワーク実習指導 II	3前		2		1		1		
	ソーシャルワーク実習指導 III	3後		2		1		1		
	社会福祉調査論	3後		2		1				
	福祉経営論	3後		2						1
	精神保健の課題と支援	3後		2			1			
	スクールソーシャルワーク論	3後		2			1	1		
	スクールソーシャルワーク演習	3後		1			1	1		
	社会福祉演習 II	4通		2		2				
	スクールソーシャルワーク実習指導	4通		1			1			
	スクールソーシャルワーク実習	4通		2			1			
	小計 (35科目)	—	0	75	0	2	1	1	0	0
社会科学科目群	現代社会学概論	1後		2						3
	経済学概論A	2前		2						1
	経済学概論B	2後		2						1
	社会学概論A	2前		2						1
	社会学概論B	2後		2						1
	グローバル社会体験実習	2通		3						2
	法と社会A	2前		2						1
	法と社会B	2後		2						1
	国際社会学A	2前		2						1
	国際社会学B	2後		2						1
	小計 (10科目)	—	0	21	0	0	0	0	0	5
専門教育科目 情報・経営科目群	NPO・NGO論	3前		2						1
	経営学概論	1後		2						1
	マーケティング論	2後		2						1
	情報学概論	1前		2						1
	情報社会学A	2前		2						1
	情報社会学B	2後		2						1
	小計 (6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	4
社会調査士養成プログラム	社会調査法A	2前		2						1
	社会調査法B	2後		2						1
	多変量解析の方法	2後		2						1
	質的な調査と分析の方法	2後		2						2
	社会調査実習 I	3前		2						1
	社会調査実習 II	3後		2						1
	小計 (6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	3
スポーツ健康系科目群	スポーツ心理学	1後		2						1
	スポーツキャリアデザイン	2前		2						1
	スポーツ経営管理学	2後		2						1
	スポーツ社会学	2前		2						1
	障がい者スポーツ指導論	2後		2						1
	スポーツコーチング学 I	3前		2						1
	スポーツコーチング学 II	3前		2						1
	スポーツコーチング学 III	3後		2						1
	スポーツコーチング学 IV	3後		2						1
	医療福祉システム論 I	2後		2						1
	医療福祉システム論 II	3前		2						1
	小計 (11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	7
キャリア教育科目群	社会研究実習(事前事後の指導を含む)	2通		2		1	1	2		3
	地域社会体験実習 (市役所)	3通		2						2
	企業研究 I	2前		1						1
	企業研究 II	3前		2						1
	資格・検定認定(複数型)	1前・後		2		1				
	資格・検定認定(上級型)	1前・後		2		1				
	TOEIC入門A	1前		2						1
	TOEIC入門B	1後		2						1
	TOEIC A	2前		2						1
	TOEIC B	2後		2						1
	課題発見・解決演習(子どもイベント編)	1後		2						2

課題発見・解決演習(地域コミュニティ編) (未開講)	1通		2		1			2
小計 (12科目)	—	0	23	0	2	2	0	6
合計 (244科目)	—	31	418	0	4	5	2	0

卒業要件及び履修方法

以下の要件を満たして、卒業に必要な128単位を修得するものとする。

<共通教育科目>
必修科目6科目9単位、選択必修科目の外国語科目1～2か国語4単位以上を修得し、選択科目は人文科学・社会科学・自然科学・キャリア／教職の各系から2単位以上を含む計15単位を修得すること。また、保健体育科目的修得単位は、共通教育科目的選択科目として卒業に必要な単位数に算入することとし、合計28単位以上修得すること。

<専門教育科目>
専門必修科目22単位、選択必修科目から10単位以上、心理コース選択科目および社会福祉コース選択科目のうち自分が所属するコースから38単位以上を修得し、その他の選択科目（心理コース選択科目・社会福祉コース選択科目のうち自分が所属しないコース選択科目、社会科学系科目群・情報・経営系科目群・社会調査士養成プログラム・スポーツ健康系科目群、キャリア教育科目群）を合わせて、専門教育科目から100単位以上修得すること。

履修科目の登録の上限：48単位（CAP除外科目を除く）（但し累積GPAが年度末の時点で3.2以上あれば、次年度の履修登録単位（年間）の上限を56単位とする）

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員（助手を除く）」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員（助手を除く）」としてください。
 - 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員）が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字してください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員（助手を除く）」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員（助手を除く）（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員（助手を除く）」）」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字としてください。
- （専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。）
- 履修希望者がいなかったために未開講となつた科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 - 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和3年度】(旧)→【令和2年度】(旧)

(1) ①②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- 共通教育科目構成の見直しにより、「新入生セミナー」の教員配置を「教授4」から「教授1」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「宗教学A」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「宗教学B」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「日本文化を学ぶ」の単位を「1」から「2」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「哲学」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「日本文学」の配当年次を「1後」から「1前・後」に、教員配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「文化人類学」の配当年次を「1前」から「2前」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「文章表現」の教員配置を「兼任2」から「兼任3」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「心理学の支援法」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「希達心理学」の教員配置を「兼任1」から「専任教員」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「資格・検定認定（複数型）」の教員配置を「兼任1」から「専任教員」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「資格・検定認定（上級型）」の教員配置を「兼任1」から「専任教員」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「課題発見・解決演習（子どもイベント編）」の配当年次を「1通」から「1後」に変更。
- 申請時の単位集計誤りにより、以下の通り修正。
専門教育科目 社会福祉コース選択科目の小計欄の単位を77単位から75単位に修正。
合計欄の単位を419単位から417単位に修正。

【令和7年度】

- 令和7年度より改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）を適用。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「新入生セミナー」を「情報リテラシー」に変更し、教員配置を「専任教授4、専任准教授5、専任講師2」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- クラス数の見直しにより、「英語A（コミュニケーション）」の教員配置を「兼任・兼担6」から「基幹教員以外の教員9」に変更。
- クラス数の見直しにより、「英語B（コミュニケーション）」の教員配置を「兼任・兼担6」から「基幹教員以外の教員9」に変更。
- クラス数の見直しにより、「英語A（総合）」の教員配置を「兼任・兼担4」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- クラス数の見直しにより、「英語B（総合）」の教員配置を「兼任・兼担4」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- クラス数の見直しにより、「ドイツ語入門A」の教員配置を「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- クラス数の見直しにより、「ドイツ語入門B」の教員配置を「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- クラス数の見直しにより、「ドイツ語会話A」の教員配置を「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- クラス数の見直しにより、「ドイツ語会話B」の教員配置を「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- クラス数の見直しにより、「フランス語入門A」の教員配置を「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- クラス数の見直しにより、「フランス語入門B」の教員配置を「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- クラス数の見直しにより、「フランス語会話A」の教員配置を「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- クラス数の見直しにより、「フランス語会話B」の教員配置を「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「体育（講義を含む）」の教員配置を「兼任・兼担2」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「統計学I」の配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「統計学II」の配当年次を「2前」から「2前・後」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「ロジカルシンキング」の教員配置を「兼任・兼担1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「ロジカルコミュニケーション」の教員配置を「兼任・兼担1」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「キャリアデザイン」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹教授1」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「海外研修A（英語圏）」の教員配置を「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「海外研修B（英語圏）」の教員配置を「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- 共通教育科目構成の見直しにより、「教育インターンシップI」と「教育インターンシップII」を統合して「教育インターンシップ」に名称を変更。教員配置を「兼任・兼担4」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- 共通教育科目 キャリア教育科目的小計科目を12科目から11科目に、単位を22単位から21単位に修正。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「基礎ゼミI（学習技術）」の教員配置を「専任教授1」から「基幹教授2」に、「専任准教授5」から「基幹准教授4」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「基礎ゼミII（研究入門）」の教員配置を「専任教授4」から「基幹教授3」に、「専任准教授5」から「基幹准教授4」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「人間と社会A」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹講師1」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「人間と社会B」の教員配置を「専任教授1」から「基幹教授2」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「心理・福祉学入門」の教員配置を「専任教授4」から「基幹教授5」に、「専任准教授5」から「基幹准教授4」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「ゼミナールI」の教員配置を「専任教授4」から「基幹教授5」に、「専任准教授5」から「基幹准教授4」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「ゼミナールII」の教員配置を「専任教授4」から「基幹教授5」に、「専任准教授5」から「基幹准教授4」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「卒業研究」の教員配置を「専任教授4」から「基幹教授5」に、「専任准教授5」から「基幹准教授4」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「発達心理学」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹講師1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「社会福祉概論」の教員配置を「専任講師1」から「基幹准教授1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「心理学概論」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹教授1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「学習・言語心理学」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹教授1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「感情・人格心理学I」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹教授1」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「感情・人格心理学II」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「教育心理学」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹教授1」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「臨床教育・学校心理学」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹講師1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「心理学実験I」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹教授1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「心理学研究法」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹教授1」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「心理学文献講読」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「知覚・認知心理学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「心理実習」の教員配置を「専任准教授3」から「基幹准教授2」に、「専任講師1」から「基幹講師2」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「障害者・障害児心理学」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹講師1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「キャリア心理学」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹教授1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「キャリア心理学演習」の教員配置を「専任教授0」から「基幹教授1」に、「専任准教授2」から「基幹准教授1」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「臨床心理学総論」の教員配置を「専任教授2」から「基幹教授3」に、「専任准教授4」から「基幹准教授2」に、「専任講師1」から「基幹講師2」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「神経・生理心理学」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「子ども家庭福祉論」の教員配置を「専任講師1」から「基幹准教授1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「ソーシャルワーク演習I」の教員配置を「専任講師1」から「基幹准教授1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「ソーシャルワーク実習指導I」の教員配置を「専任講師1」から「基幹准教授1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「社会福祉演習I」の教員配置を「専任講師1」から「基幹准教授2」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「ソーシャルワーク実習」の教員配置を「専任講師1」から「基幹准教授2」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「ソーシャルワーク実習指導II」の教員配置を「専任講師1」から「基幹准教授1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「ソーシャルワーク実習指導III」の教員配置を「専任講師1」から「基幹准教授1」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「スクールソーシャルワーク論」の教員配置を「専任講師1」から「基幹准教授2」に変更。
- 担当教員の職位変更により、「スクールソーシャルワーク演習」の教員配置を「専任講師1」から「基幹准教授2」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「経済学概論A」の教員配置を「兼任・兼担1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「マーケティング論」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「質的調査と分析の方法」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- 専門教育科目構成の見直しにより、「社会研究実習(事前事後の指導を含む)」の教員配置を「専任准教授1」から「基幹准教授2」に、「専任講師2」から「基幹講師1」に、「兼任・兼担3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。

(注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、

主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。

変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、

兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、

記入しないでください。

・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
14 科目	230 科目	0 科目	244 科目	14 科目 []	229 科目 [△ 1]	0 科目 []	243 科目 [△ 1]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△ 1）
 ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	日本文化を学ぶ	2	2	共通	選択	2年次の留学生が在籍していないため。
2	グローバル社会体験実習	3	2	専門	選択	前年度に履修希望の学生がいなかったため。
3	課題発見・解決演習(子どもイベント編)	2	1	専門	選択	隔年開講のため。

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目について

「日本文化を学ぶ」は2年次の留学生を対象とした科目であり、対象学年の留学生が在籍していないため。「グローバル社会体験実習」は前年度に実習希望学生がいなかったため。「課題発見・解決演習(子どもイベント編)」は同系統の「課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)」を毎年交代で隔年開講としているため。学生には休講科目として時間割にも添付し、WEB掲示、オリエンテーションで周知している。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止したことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{3}{244} = \boxed{1.22} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容					備考	
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	77,552.765m ²	m ²	m ²	77,552.765m ²			
	その他	5,254.235m ²	m ²	m ²	5,254.235m ²			
	合計	82,807m ²	m ²	m ²	82,807m ²			
(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計				
	45,299.63m ² (45,299.63m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	45,299.63m ² (45,299.63m ²)				
(3) 教室・教員研究室		教室	室	教員研究室	(例) 16 1-5室		(例) 令和7年4月 基幹教員教授1名を新規採用のため(7)	
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	機械・器具 点	標本 点	電子ジャーナルは学部別での特定が不能なため大学全体共用分を含む。	
	人間社会学部	69459 [12605] 63739 [12531] (62499 [12501])	1834 [188]	5228 [5101] (4903 [4899])	5099 [5095] (4774 [4770])	327 349 330	6 6	
	計	69459 [12605] 63739 [12531] (62499 [12501])	1834 [188]	5228 [5101] (4903 [4899])	5099 [5095] (4774 [4770])	327 349 330	6 (6)	
	(5) スポーツ施設等		スポーツ施設 5,365.79m ²	講堂 m ²	厚生補導施設 689.35m ²			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員1人当たり研究費等	380千円	380千円	図書購入費	540千円	660千円	660千円	
	共同研究費等	6,000千円	6,000千円	設備購入費	0千円	2,970千円	2,935千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次 1,430千円	第2年次 1,110千円	第3年次 1,110千円	第4年次 1,110千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		法人からの繰入収入をもって、充当する					

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び

「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA.C対象学部等の数値を記入してください。】

・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

【教員1人当たりの研究費等】
研究図書補助手当(18万円)を含む

【共同研究費等】
薬学部を除く3学部全体

【図書購入費】
6万×11名

4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪大谷大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	2
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
日本語日本文学科	4	50	—	205	学士 (日本語日本文学)	0.84	—	—	昭和41年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
歴史文化学科	4	50	—	205	学士 (歴史文化学)	0.77	—	—	平成12年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
教育学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
教育学科	4	130	—	780	学士 (教育学)	0.70	—	—	平成16年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
人間社会学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
人間社会学科	4	50	—	270	学士 (人間社会学)	0.57	—	—	平成17年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
心理・福祉学科	4	50	—	100	学士 (心理・福祉学)	0.87	—	—	令和6年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
スポーツ健康学科	4	100	—	400	学士 (スポーツ健康学)	1.01	—	—	平成24年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
薬学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
薬学科	6	100	—	800	学士 (薬学)	0.79	—	—	平成18年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
文学研究科	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
国語学国文学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士 (国語学) (国文学)	0.25	—	—	昭和50年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
国語学国文学専攻 (博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	—	—	昭和53年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
歴史文化学専攻 (博士前期課程)	2	4	—	8	修士 (歴史文化学)	0.00	—	—	平成16年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
歴史文化学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (文学)	0.16	—	—	平成16年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				
薬学研究科	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
薬学専攻 (博士課程)	4	3	—	12	博士 (薬学)	0.66	—	—	令和元年度	大阪府富田林市錦織北3丁目11番1号				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定してください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、

「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定してください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

・履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

＜人間社会学部 心理・福祉学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
専 兼任	教授	小西 宏幸 (53) <令和6年4月> 博士(社会学)
		新入生セミナー 基礎ゼミⅡ(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 感情・人格心理学Ⅱ 心理的アセスメント 心理演習Ⅱ 心理実習 認知行動療法論 臨床心理学総論
専 兼任	教授	田沢 晶子 (55) <令和6年4月> 修士(心理学)※
		新入生セミナー 基礎ゼミⅡ(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 心理学的支援法 公認心理士の職責 心理演習Ⅰ 心理実習 精神力動論 臨床心理学総論
専 兼任	教授	秦 康宏 (60) <令和6年4月> 修士(学術)※
		新入生セミナー くらしと社会保障 基礎ゼミⅠ(学習技術) 基礎ゼミⅡ(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 社会福祉概論※ 高齢者福祉論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習 社会福祉調査論 社会福祉演習Ⅱ

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
専 兼任	教授	小西 宏幸 (53) <令和6年4月> 博士(社会学)
		基礎ゼミⅡ(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 感情・人格心理学Ⅱ 心理的アセスメント 心理演習Ⅱ 心理実習 認知行動療法論 臨床心理学総論 資格・検定認定(複数型) 資格・検定認定(上級型)
専 兼任	教授	田沢 晶子 (55) <令和6年4月> 修士(心理学)※
		基礎ゼミⅡ(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 心理学的支援法 公認心理士の職責 心理演習Ⅰ 心理実習 精神力動論 臨床心理学総論
専 兼任	教授	秦 康宏 (60) <令和6年4月> 修士(学術)※
		新入生セミナー くらしと社会保障 基礎ゼミⅠ(学習技術) 基礎ゼミⅡ(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 社会福祉概論※ 高齢者福祉論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習 社会福祉調査論 社会福祉演習Ⅱ

【令和7年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
専 兼任	教授	小西 宏幸 (54) <令和6年4月> 博士(社会学)
		心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 感情・人格心理学Ⅱ 心理的アセスメント 心理演習Ⅱ 心理実習 認知行動療法論 臨床心理学総論
専 兼任	教授	田沢 晶子 (56) <令和6年4月> 修士(心理学)※
		基礎ゼミⅠ(学習技術) 基礎ゼミⅡ(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 心理学的支援法 公認心理士の職責 心理演習Ⅰ 心理実習 精神力動論 臨床心理学総論
専 兼任	教授	秦 康宏 (61) <令和6年4月> 修士(学術)※
		くらしと社会保障 基礎ゼミⅡ(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 社会福祉概論※ 高齢者福祉論 ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習 社会福祉調査論 社会福祉演習Ⅱ 資格・検定認定(複数型) 資格・検定認定(上級型)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
専 教 授	教授	船本 淑恵 (52) <令和6年4月> 博士 (社会福祉学)		専 教 授	教授	船本 淑恵 (52) <令和6年4月> 博士 (社会福祉学)		基 (主 専)	教授	船本 淑恵 (53) <令和6年4月> 博士 (社会福祉学)	
専 准 教 授	准教授	新入生セミナー 基礎ゼミⅡ(研究入門) 人間と社会A※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 社会福祉概論※ 社会福祉政策論 障害者福祉論 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ 社会福祉演習Ⅱ 社会研究実習(事前事後の指導を含む)		専 准教 授	准教授	基礎ゼミⅡ(研究入門) 人間と社会A※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 社会福祉概論※ 社会福祉政策論 障害者福祉論 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ 社会福祉演習Ⅱ 社会研究実習(事前事後の指導を含む)		基 (主 専)	准教授	人間と社会A※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 社会福祉概論※ 社会福祉政策論 障害者福祉論 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク演習Ⅴ ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ 社会福祉演習Ⅱ 社会研究実習(事前事後の指導を含む)	
専 准 教 授	准教授	浅野 浩子 (47) <令和6年4月> 博士 (臨床心理学)		専 准教 授	准教授	浅野 浩子 (48) <令和6年4月> 博士 (臨床心理学)		基 (主 専)	准教授	浅野 浩子 (49) <令和6年4月> 博士 (臨床心理学)	
専 准 教 授	准教授	新入生セミナー 基礎ゼミⅠ(学習技術) 基礎ゼミⅡ(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 社会・集団・家族心理学A 教育相談の理論と実際 心理演習Ⅱ 心理実習 臨床心理学総論 社会研究実習(事前事後の指導を含む)		専 准教 授	准教授	新入生セミナー 基礎ゼミⅠ(学習技術) 基礎ゼミⅡ(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 社会・集団・家族心理学A 教育相談の理論と実際 心理演習Ⅱ 心理実習 臨床心理学総論 社会研究実習(事前事後の指導を含む)		基 (主 専)	准教授	基礎ゼミⅠ(学習技術) 基礎ゼミⅡ(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 社会・集団・家族心理学A 教育相談の理論と実際 心理演習Ⅱ 心理実習 臨床心理学総論 社会研究実習(事前事後の指導を含む)	
専 准 教 授	准教授	井手 沙織 (42) <令和6年4月> 専門職 (臨床心理修士)		専 准教 授	准教授	井手 沙織 (42) <令和6年4月> 専門職 (臨床心理修士)					

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専 准教 授		植木 是 (47) <令和6年4月> 修士(社会学)	専 准教 授		植木 是 (47) <令和6年4月> 修士(社会学)	基(主 専)		植木 是 (48) <令和6年4月> 修士(社会学)
		新入生セミナー 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 ソーシャルワークの基盤と専門 職I 介護概論 ソーシャルワーク演習II ソーシャルワークの基盤と専門 職II 医療福祉論 社会福祉演習I ソーシャルワーク実習 精神保健の課題と支援 スクールソーシャルワーク論※ スクールソーシャルワーク演習 スクールソーシャルワーク実習 指導 スクールソーシャルワーク実習 課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)【隔年】			新入生セミナー 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 ソーシャルワークの基盤と専門 職I 介護概論 ソーシャルワーク演習II ソーシャルワークの基盤と専門 職II 医療福祉論 社会福祉演習I ソーシャルワーク実習 精神保健の課題と支援 スクールソーシャルワーク論※ スクールソーシャルワーク演習 スクールソーシャルワーク実習 指導 スクールソーシャルワーク実習 課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)【隔年】			基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 ソーシャルワークの基盤と専門 職I 介護概論 ソーシャルワーク演習II ソーシャルワークの基盤と専門 職II 医療福祉論 社会福祉演習I ソーシャルワーク実習 精神保健の課題と支援 スクールソーシャルワーク論※ スクールソーシャルワーク演習 スクールソーシャルワーク実習 指導 スクールソーシャルワーク実習 課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)【隔年】
専 准教 授		上西 裕之 (44) <令和6年4月> 博士(文学)	専 准教 授		上西 裕之 (44) <令和6年4月> 博士(文学)	基(主 専)		上西 裕之 (45) <令和6年4月> 博士(文学)
		新入生セミナー 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 臨床心理学概論 福祉心理学 心理学文献講読 心理的アセスメント 心理演習I 心理実習 健康・医療心理学 キャリア心理学演習 臨床心理学総論			新入生セミナー 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 臨床心理学概論 福祉心理学 心理学文献講読 心理的アセスメント 心理演習I 心理実習 健康・医療心理学 キャリア心理学演習 臨床心理学総論			基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 臨床心理学概論 福祉心理学 心理学文献講読 心理的アセスメント 心理演習I 心理実習 健康・医療心理学 キャリア心理学演習 臨床心理学総論
専 准教 授		安田 傑 (42) <令和6年4月> 博士 (教育心理学)	専 准教 授		安田 傑 (43) <令和6年4月> 博士 (教育心理学)	基(主 専)		安田 傑 (44) <令和6年4月> 博士 (教育心理学)
		新入生セミナー キャリアデザイン 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 心理学概論 学習・言語心理学 感情・人格心理学I 教育心理学 心理学実験II 心理学研究法 キャリア心理学 キャリア心理学演習 臨床心理学総論			新入生セミナー キャリアデザイン 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 心理学概論 学習・言語心理学 感情・人格心理学I 教育心理学 心理学実験II 心理学研究法 キャリア心理学 キャリア心理学演習 臨床心理学総論			キャリアデザイン 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 心理学概論 学習・言語心理学 感情・人格心理学I 教育心理学 心理学実験II 心理学研究法 キャリア心理学 キャリア心理学演習 臨床心理学総論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専 講師		河崎 俊博 (39) <令和6年4月> 博士(心理学)	専 講師		河崎 俊博 (39) <令和6年4月> 博士(心理学)	基(主 専)	講師	河崎 俊博 (40) <令和6年4月> 博士(心理学)
		新入生セミナー 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 産業心理学 心理実習 人間性心理学 メンタルヘルスマネジメント演習 公認心理師の関係行政論 キャリア心理学演習 臨床心理学総論 社会研究実習(事前事後の指導を含む)			新入生セミナー 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 産業心理学 心理実習 人間性心理学 メンタルヘルスマネジメント演習 公認心理師の関係行政論 キャリア心理学演習 臨床心理学総論 社会研究実習(事前事後の指導を含む)			基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 基礎コミュニケーション演習 産業心理学 心理実習 人間性心理学 メンタルヘルスマネジメント演習 公認心理師の関係行政論 キャリア心理学演習 臨床心理学総論 社会研究実習(事前事後の指導を含む)
専 講師		谷 俊英 (45) <令和6年4月> 社会学修士	専 講師		谷 俊英 (45) <令和6年4月> 社会学修士	基(主 専)	准教 授	谷 俊英 (46) <令和6年4月> 社会学修士
		新入生セミナー 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 社会福祉概論※ 心理・福祉総合演習 子ども家庭福祉論 ソーシャルワーク演習I ソーシャルワーク実習指導I 社会福祉演習I ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習指導III スクールソーシャルワーク論※ スクールソーシャルワーク演習 社会研究実習(事前事後の指導を含む)			新入生セミナー 基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 社会福祉概論※ 心理・福祉総合演習 子ども家庭福祉論 ソーシャルワーク演習I ソーシャルワーク実習指導I 社会福祉演習I ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習指導III スクールソーシャルワーク論※ スクールソーシャルワーク演習 社会研究実習(事前事後の指導を含む)			基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 人間と社会B※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 社会福祉概論※ 心理・福祉総合演習 子ども家庭福祉論 ソーシャルワーク演習I ソーシャルワーク実習指導I 社会福祉演習I ソーシャルワーク実習 ソーシャルワーク実習指導II ソーシャルワーク実習指導III スクールソーシャルワーク論※ スクールソーシャルワーク演習 社会研究実習(事前事後の指導を含む)
						基(主 専)	講師	宮谷 祐史 (33) <令和7年4月> 修士(教育学)※
								基礎ゼミI(学習技術) 基礎ゼミII(研究入門) 人間と社会A※ 心理・福祉学入門※ ゼミナールI ゼミナールII 卒業研究 発達心理学 臨床教育・学校心理学 心理実習 障害者・障害児心理学 心理・福祉総合演習 臨床心理学総論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名				担当授業科目名				担当授業科目名	
兼任	特任教授	岩井 晃子 (65) <令和6年10月> 修士(教育学)						その他	特任教授	岩井 晃子 (66) <令和7年4月> 修士(教育学)	
		教職総合ベーシックⅠ 教職総合ベーシックⅡ 教職総合アドバンスⅠ 教職総合アドバンスⅡ 教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップⅠ 教育インターンシップⅡ								教職総合アドバンスⅠ 教職総合アドバンスⅡ 教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップ	
兼任	講師	岩井 晃子 (65) <令和7年4月> 修士(教育学)		兼任	講師	岩井 晃子 (65) <令和7年4月> 修士(教育学)		その他	講師	岩井 晃子 (66) <令和8年4月> 修士(教育学)	
		教職総合ベーシックⅠ 教職総合ベーシックⅡ 教職総合アドバンスⅠ 教職総合アドバンスⅡ 教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップⅠ 教育インターンシップⅡ				教職総合アドバンスⅠ 教職総合アドバンスⅡ 教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップⅠ 教育インターンシップⅡ				教職総合アドバンスⅠ 教職総合アドバンスⅡ 教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップ	
兼任	教授	岡島 克樹 (56) <令和6年4月> 開発学修士		兼任	教授	岡島 克樹 (56) <令和6年4月> 開発学修士		その他	教授	岡島 克樹 (57) <令和6年4月> 開発学修士	
		自治体研究 採用研究(公務員)※ 海外研修A(英語圏) 海外研修B(英語圏) 人間と社会A※ 現代社会学概論※ グローバル社会体験実習 国際社会学A 国際社会学B 地域社会体験実習(市役所) 資格・検定認定(複数型) 資格・検定認定(上級型) 課題発見・解決演習(子どもイベント編)【隔年】 課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)【隔年】				自治体研究 採用研究(公務員)※ 海外研修A(英語圏) 海外研修B(英語圏) 人間と社会A※ 現代社会学概論※ グローバル社会体験実習 国際社会学A 国際社会学B 地域社会体験実習(市役所) 課題発見・解決演習(子どもイベント編)【隔年】 課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)【隔年】				自治体研究 採用研究(公務員)※ 人間と社会A※ 現代社会学概論※ グローバル社会体験実習 国際社会学A 国際社会学B 地域社会体験実習(市役所) 課題発見・解決演習(子どもイベント編)【隔年】 課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)【隔年】	
兼任	特任教授	尾川 信之 (67) <令和6年4月> 薬学博士 (東北大学) 経営学博士 (法政大学)		兼任	特任教授	尾川 信之 (67) <令和6年4月> 薬学博士 (東北大学) 経営学博士 (法政大学)		その他	特任教授	尾川 信之 (68) <令和6年4月> 薬学博士 (東北大学) 経営学博士 (法政大学)	
		キャリア概論 ロジカルシンキング ロジカルコミュニケーション 社会教養基礎 数学教養基礎 インターンシップ入門 就活力I 就活力II 採用研究(民間企業) 採用研究(公務員)※				キャリア概論 社会教養基礎 数学教養基礎 インターンシップ入門 就活力I 就活力II 採用研究(民間企業) 採用研究(公務員)※				キャリア概論 インターンシップ入門 就活力I 就活力II 採用研究(民間企業) 採用研究(公務員)※	

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	尾川 信之 (70) <令和9年4月> 薬学博士 (東北大学) 経営学博士 (法政大学)	兼任	講師	尾川 信之 (70) <令和9年4月> 薬学博士 (東北大学) 経営学博士 (法政大学)		講師	尾川 信之 (71) <令和9年4月> 薬学博士 (東北大学) 経営学博士 (法政大学)
		キャリア概論 ロジカルシンキング ロジカルコミュニケーション 社会教養基礎 数学教養基礎 インターンシップ入門 就活力I 就活力II 採用研究(民間企業) 採用研究(公務員)※			キャリア概論 ロジカルシンキング ロジカルコミュニケーション 社会教養基礎 数学教養基礎 インターンシップ入門 就活力I 就活力II 採用研究(民間企業) 採用研究(公務員)※			キャリア概論 インターンシップ入門 就活力I 就活力II 採用研究(民間企業) 採用研究(公務員)※
兼任	特任教授	奥園 みどり (64) <令和7年4月> 教育学士	兼任	特任教授	奥園 みどり (64) <令和7年4月> 教育学士		特任教授	奥園 みどり (65) <令和7年4月> 教育学士
		教育インターンシップI 教育インターンシップII			教育インターンシップI 教育インターンシップII			教育インターンシップ
兼任	講師	奥園 みどり (65) <令和8年4月> 教育学士	兼任	講師	奥園 みどり (65) <令和8年4月> 教育学士		講師	奥園 みどり (66) <令和8年4月> 教育学士
		教育インターンシップI 教育インターンシップII			教育インターンシップI 教育インターンシップII			教育インターンシップ
兼任	教授	近藤 篤俊 (58) <令和6年4月> 修士(経済学)	兼任	教授	近藤 篤俊 (58) <令和6年4月> 修士(経済学)		教授	近藤 篤俊 (59) <令和6年4月> 修士(経済学)
		簿記入門 経済学概論A 経済学概論B			簿記入門 経済学概論A 経済学概論B			簿記入門 経済学概論A 経済学概論B
兼任	教授	地下 まゆみ (49) <令和6年10月> 博士(理学)	兼任	教授	地下 まゆみ (49) <令和6年10月> 博士(理学)		教授	地下 まゆみ (50) <令和6年10月> 博士(理学)
		防災入門			防災入門			防災入門
兼任	特任教授	芝本 哲也 (67) <令和7年4月> 工学士	兼任	特任教授	芝本 哲也 (67) <令和7年4月> 工学士		特任教授	芝本 哲也 (68) <令和7年4月> 工学士
		教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップI 教育インターンシップII 学校教育演習I 学校教育演習II			教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップI 教育インターンシップII 学校教育演習I 学校教育演習II			教職直前対策 教職教養対策 学校教育演習I 学校教育演習II 教育インターンシップ
兼任	教授	鈴木 利一 (63) <令和6年4月> 文学修士※	兼任	教授	鈴木 利一 (63) <令和6年4月> 文学修士※		教授	鈴木 利一 (64) <令和6年4月> 文学修士※
		海外研修A(朝鮮語圏) 海外研修B(朝鮮語圏)			海外研修A(朝鮮語圏) 海外研修B(朝鮮語圏)			海外研修A(朝鮮語圏) 海外研修B(朝鮮語圏)

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 利一 (65) <令和8年4月> 文学修士※
		海外研修A(朝鮮語圏) 海外研修B(朝鮮語圏)
兼任	教授	富永 美香 (47) <令和6年4月> 学術博士
		生活科学
兼任	教授	中道 厚子 (64) <令和7年4月> 学術修士
		スポーツキャリアデザイン
兼任	講師	中道 厚子 (65) <令和8年4月> 学術修士
		スポーツキャリアデザイン
兼任	教授	中村 雅司 (57) <令和6年4月> 工学修士※
		現代科学論 コンピュータ技術基礎Ⅱ 人間と社会A※ 情報学概論 多変量解析の方法 質的な調査と分析の方法※
兼任	教授	長瀬 美子 (60) <令和6年4月> 教育学修士※
		課題発見・解決演習(子どもイベント編)【隔年】
兼任	教授	西中 徹 (58) <令和6年4月> 博士(薬学)
		自然科学への誘い※
兼任	教授	貫名 讓 (57) <令和6年10月> 文学修士※
		仏教学 いのちを共に考える
兼任	教授	福井 美保 (49) <令和8年10月> 博士(医学)
		人体の構造と機能及び疾病

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	鈴木 利一 (65) <令和8年4月> 文学修士※
		海外研修A(朝鮮語圏) 海外研修B(朝鮮語圏)
兼任	教授	富永 美香 (47) <令和6年4月> 学術博士
		生活科学
兼任	教授	中道 厚子 (64) <令和7年4月> 学術修士
		スポーツキャリアデザイン
兼任	講師	中道 厚子 (65) <令和8年4月> 学術修士
		スポーツキャリアデザイン
兼任	教授	中村 雅司 (57) <令和6年4月> 工学修士※
		現代科学論 コンピュータ技術基礎Ⅱ 人間と社会A※ 情報学概論 多変量解析の方法 質的な調査と分析の方法※
兼任	教授	長瀬 美子 (60) <令和6年4月> 教育学修士※
		課題発見・解決演習(子どもイベント編)【隔年】
兼任	教授	西中 徹 (58) <令和6年4月> 博士(薬学)
		自然科学への誘い※
兼任	教授	貫名 让 (57) <令和6年4月> 文学修士※
		いのちを共に考える 宗教学B
兼任	教授	福井 美保 (49) <令和8年10月> 博士(医学)
		人体の構造と機能及び疾病

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	鈴木 利一 (66) <令和8年4月> 文学修士※
		海外研修A(朝鮮語圏) 海外研修B(朝鮮語圏)
その他	教授	富永 美香 (48) <令和6年4月> 学術博士
		生活科学
その他	教授	中村 雅司 (58) <令和6年4月> 工学修士※
		現代科学論 コンピュータ技術基礎Ⅱ 人間と社会A※ 情報学概論 多変量解析の方法 質的な調査と分析の方法※
その他	教授	長瀬 美子 (61) <令和6年4月> 教育学修士※
		課題発見・解決演習(子どもイベント編)【隔年】
その他	教授	西中 徹 (58) <令和6年4月> 博士(薬学)
		自然科学への誘い※
その他	教授	貫名 让 (58) <令和6年4月> 文学修士※
		いのちを共に考える 宗教学B
その他	教授	福井 美保 (50) <令和8年10月> 博士(医学)
		人体の構造と機能及び疾病

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	藤原 崇 (55) <令和6年4月> 博士(経営学)	兼任	教授	藤原 崇 (55) <令和6年4月> 博士(経営学)	その他	教授	藤原 崇 (56) <令和6年4月> 博士(経営学)
		人間と社会A※ 経営学概論 マーケティング論 社会研究実習(事前事後の指導を含む) 企業研究Ⅰ 企業研究Ⅱ			人間と社会A※ 経営学概論 マーケティング論 社会研究実習(事前事後の指導を含む) 企業研究Ⅰ 企業研究Ⅱ			人間と社会A※ 経営学概論 企業研究Ⅰ 企業研究Ⅱ
兼任	特任教授	松下 廣伸 (63) <令和7年4月> 教育学士	兼任	特任教授	松下 廣伸 (64) <令和7年4月> 教育学士	その他	特任教授	松下 廣伸 (65) <令和7年4月> 教育学士
		教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップⅠ 教育インターンシップⅡ 学校教育演習Ⅰ 学校教育演習Ⅱ			教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップⅠ 教育インターンシップⅡ 学校教育演習Ⅰ 学校教育演習Ⅱ			教職直前対策 教職教養対策 学校教育演習Ⅰ 学校教育演習Ⅱ 教育インターンシップ
兼任	講師	松下 廣伸 (65) <令和9年4月> 教育学士	兼任	講師	松下 廣伸 (66) <令和9年4月> 教育学士	その他	講師	松下 廣伸 (67) <令和9年4月> 教育学士
		教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップⅠ 教育インターンシップⅡ 学校教育演習Ⅰ 学校教育演習Ⅱ			教職直前対策 教職教養対策 教育インターンシップⅠ 教育インターンシップⅡ 学校教育演習Ⅰ 学校教育演習Ⅱ			教職直前対策 教職教養対策 学校教育演習Ⅰ 学校教育演習Ⅱ 教育インターンシップ
兼任	教授	山内 章裕 (56) <令和7年4月> 経営学修士※	兼任	教授	山内 章裕 (56) <令和7年4月> 経営学修士※	その他	教授	山内 章裕 (57) <令和7年4月> 経営学修士※
		スポーツ経営管理学 スポーツ社会学			スポーツ経営管理学 スポーツ社会学			スポーツ経営管理学 スポーツ社会学
兼任	教授	吉川 真由美 (60) <令和6年4月> 医学士	兼任	准教授	小林 未季代 (37) <令和6年4月> 修士 (スポーツ科学)※	その他	准教授	小林 未季代 (38) <令和6年4月> 修士 (スポーツ科学)※
		人間と社会A※			人間と社会A※ スポーツ心理学 スポーツコーチング学Ⅰ			人間と社会A※ スポーツ心理学 スポーツコーチング学Ⅰ
兼任	准教授	Myles Grogan (53) <令和6年10月> 博士 (外国語教育学)	兼任	准教授	Myles Grogan (53) <令和6年10月> 博士 (外国語教育学)	その他	准教授	Myles Grogan (54) <令和6年10月> 博士 (外国語教育学)
		英米文化を学ぶ 現代社会学概論※ 質的な調査と分析の方法※ 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ			英米文化を学ぶ 現代社会学概論※ 質的な調査と分析の方法※ 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ			英米文化を学ぶ 現代社会学概論※ 質的な調査と分析の方法※ 社会調査実習Ⅰ 社会調査実習Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	鈴木 幸平 (44) <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	鈴木 幸平 (44) <令和6年4月> 博士(学術)		准教授	鈴木 幸平 (45) <令和6年4月> 博士(学術)
		英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合)			英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合) 海外研修A(英語圏) 海外研修B(英語圏)			海外研修A(英語圏) 海外研修B(英語圏)
兼任	准教授	竹歳 賢一 (56) <令和6年4月> 修士(教育学)※	兼任	准教授	竹歳 賢一 (56) <令和6年4月> 修士(教育学)※		准教授	竹歳 賢一 (57) <令和6年4月> 修士(教育学)※
		数学への誘い			数学への誘い			数学への誘い
兼任	准教授	竹本 晃 (49) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	竹本 晃 (49) <令和6年4月> 博士(文学)		准教授	竹本 晃 (50) <令和6年4月> 博士(文学)
		考古学			考古学			考古学
兼任	准教授	田中 高志 (54) <令和6年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	田中 高志 (54) <令和6年4月> 博士(医学)		准教授	田中 高志 (55) <令和6年4月> 博士(医学)
		自然科学への誘い※			自然科学への誘い※			自然科学への誘い※
兼任	准教授	中島 悠介 (36) <令和6年4月> 博士(教育学)						
		海外研修A(英語圏) 海外研修B(英語圏)						
兼任	准教授	朴 炫宣 (53) <令和6年4月> 薬学博士	兼任	准教授	朴 炫宣 (53) <令和6年4月> 薬学博士		准教授	朴 炫宣 (54) <令和6年4月> 薬学博士
		自然科学への誘い※			自然科学への誘い※			自然科学への誘い※
兼任	准教授	Beh Siewkee (52) <令和6年4月> 修士(教育学) 京都大学※	兼任	准教授	Beh Siewkee (52) <令和6年4月> 修士(教育学) 京都大学※		准教授	Beh Siewkee (53) <令和6年4月> 修士(教育学) 京都大学※
		海外研修A(英語圏) 海外研修B(英語圏) 英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション)			海外研修A(英語圏) 海外研修B(英語圏)			海外研修A(英語圏) 海外研修B(英語圏)
兼任	准教授	村田 裕子 (59) <令和6年4月> 修士(家政学)※	兼任	准教授	村田 裕子 (59) <令和6年4月> 修士(家政学)※		准教授	村田 裕子 (60) <令和6年4月> 修士(家政学)※
		文化人類学			文化人類学			文化人類学
兼任	准教授	渡部 勇 (60) <令和6年4月> 博士(理学)	兼任	准教授	渡部 勇 (60) <令和6年4月> 博士(理学)		准教授	渡部 勇 (61) <令和6年4月> 博士(理学)
		自然科学への誘い※			自然科学への誘い※			自然科学への誘い※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	泉 健介 (31) <令和6年4月> 修士 (スポーツ科学)	兼任	講師	泉 健介 (31) <令和6年4月> 修士 (スポーツ科学)		講師	泉 健介 (32) <令和6年4月> 修士 (スポーツ科学)
		社会研究実習(事前事後の指導を含む) 課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)【隔年】			社会研究実習(事前事後の指導を含む) 課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)【隔年】			社会研究実習(事前事後の指導を含む) 課題発見・解決演習(地域コミュニティ編)【隔年】
兼任	講師	伊藤 大貴 (33) <令和6年10月> 博士(文学)	兼任	講師	伊藤 大貴 (33) <令和6年10月> 博士(文学)		講師	伊藤 大貴 (34) <令和6年10月> 博士(文学)
		日本史学			日本史学			日本史学
兼任	講師	久保山 力也 (49) <令和6年4月> 修士(法学)※ 修士(教育学)	兼任	講師	久保山 力也 (49) <令和6年4月> 修士(法学)※ 修士(教育学)		准教授	久保山 力也 (50) <令和6年4月> 修士(法学)※ 修士(教育学)
		日本国憲法 法学 現代社会学概論※ グローバル社会体験実習 法と社会A 法と社会B 社会研究実習(事前事後の指導を含む) 地域社会体験実習(市役所)			日本国憲法 法学 現代社会学概論※ グローバル社会体験実習 法と社会A 法と社会B 社会研究実習(事前事後の指導を含む) 地域社会体験実習(市役所)			日本国憲法 法学 現代社会学概論※ グローバル社会体験実習 法と社会A 法と社会B 社会研究実習(事前事後の指導を含む) 地域社会体験実習(市役所)
兼任	特任講師	Philip Bailey (37) <令和7年4月> 修士(TESOL) (イギリス)	兼任	特任講師	Philip Bailey (37) <令和7年4月> 修士(TESOL) (イギリス)		特任講師	Philip Bailey (38) <令和7年4月> 修士(TESOL) (イギリス)
		英会話A 英会話B			英会話A 英会話B			英会話A 英会話B
兼任	講師	山田 佳太 (41) <令和6年4月> 薬学博士	兼任	講師	山田 佳太 (41) <令和6年4月> 薬学博士		助教	前田 裕介 (37) <令和6年4月> 修士(社会学)※
		自然科学への誘い※			自然科学への誘い※			コンピュータ技術基礎 I 情報リテラシー
兼任	講師	前田 裕介 (36) <令和6年4月> 修士(社会学)※	兼任	講師	前田 裕介 (36) <令和6年4月> 修士(社会学)※		講師	前田 裕介 (40) <令和9年4月> 修士(社会学)※
		コンピュータ技術基礎 I			コンピュータ技術基礎 I			コンピュータ技術基礎 I 情報リテラシー
兼任	講師	前田 裕介 (39) <令和9年4月> 修士(社会学)※	兼任	講師	前田 裕介 (39) <令和9年4月> 修士(社会学)※		教授	岩田 真美 (44) <令和6年4月> 博士(文学)
		コンピュータ技術基礎 I			コンピュータ技術基礎 I			宗教学A
			兼任	教授	岩田 真美 (43) <令和6年4月> 博士(文学)		教授	岩田 真美 (44) <令和6年4月> 博士(文学)
					宗教学A			

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名		
		専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
				担当授業科目名
		兼任	准教 授	水口 陽子 (47) <令和6年4月> 修士(文学)、MA(English Literary Studies)
				英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション)
		兼任	講師	西野 祐司 (41) <令和6年4月> 修士(スポーツ科学)
				人間と社会A
				内井 喜美子 (46) <令和7年4月> 博士(理学)
				自然科学への誘い※
			准教 授	王地 裕介 (41) <令和7年4月> 博士(経営学)
				マーケティング論 社会研究実習(事前事後の指導を含む) 社会調査法A 社会調査法B
			教授	楠本 豊 (63) <令和7年4月> 博士(歯学)
				自然科学への誘い※
			特任 教授	初田 泰敏 (66) <令和7年4月> 学士(薬学)
				情報リテラシー
			講師	向 晃佑 (33) <令和7年4月> 博士(心理学)
				教育インターンシップ
			講師	村田 崇暢 (38) <令和7年4月> 博士(経済学)
				経済学概論A 経済学概論B

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	青山 剛一郎 (48) <令和7年4月> 修士(文学)※
		中国語会話A 中国語会話B
兼任	講師	秋吉 康晴 (42) <令和6年4月> 博士(文学)
		メディア論
兼任	講師	浅井 義弘 (65) <令和8年4月> 文学士
		教職基礎社会
兼任	講師	新崎 国広 (69) <令和6年4月> 学術修士
		福祉教育論
兼任	講師	井戸 有紀 (48) <令和6年4月> 文学修士
		中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B
兼任	講師	井上 新子 (57) <令和6年4月> 博士(文学)
		文章表現
兼任	講師	井上 美智子 (65) <令和6年4月> 博士(学術)
		宇宙・地球・生命の歴史 ヒトと環境
兼任	講師	岩本 雄太 (42) <令和6年4月> 学士(芸術)
		音楽
兼任	講師	上田 文子 (66) <令和6年4月> 文学修士※
		TOEIC Practice A TOEIC Practice B

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	青山 剛一郎 (48) <令和7年4月> 修士(文学)※
		中国語会話A 中国語会話B
兼任	講師	秋吉 康晴 (42) <令和6年4月> 博士(文学)
		メディア論
兼任	講師	浅井 義弘 (65) <令和8年4月> 文学士
		教職基礎社会
兼任	講師	新崎 国広 (69) <令和6年4月> 学術修士
		福祉教育論
兼任	講師	井戸 有紀 (48) <令和6年4月> 文学修士
		中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B
兼任	講師	井上 新子 (57) <令和6年4月> 博士(文学)
		文章表現
兼任	講師	井上 美智子 (65) <令和6年4月> 博士(学術)
		宇宙・地球・生命の歴史 ヒトと環境
兼任	講師	岩本 雄太 (42) <令和6年4月> 学士(芸術)
		音楽
兼任	講師	上田 文子 (66) <令和6年4月> 文学修士※
		TOEIC Practice A TOEIC Practice B

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	青山 剛一郎 (49) <令和7年4月> 修士(文学)※
		中国語入門A 中国語入門B
その他	講師	浅井 義弘 (66) <令和8年4月> 文学士
		教職基礎社会
その他	講師	新崎 国広 (70) <令和6年4月> 学術修士
		福祉教育論
その他	講師	井戸 有紀 (49) <令和6年4月> 文学修士
		中国語入門A 中国語入門B
その他	准教授	井上 新子 (58) <令和6年4月> 博士(文学)
		文章表現
その他	特任教授	井上 美智子 (66) <令和6年4月> 博士(学術)
		宇宙・地球・生命の歴史 ヒトと環境
その他	講師	岩本 雄太 (43) <令和6年4月> 学士(芸術)
		音楽

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	上田 早記子 (42) <令和7年4月> 修士 (人間福祉学)※	兼任	講師	上田 早記子 (42) <令和7年4月> 修士 (人間福祉学)※	その他	講師	上田 早記子 (43) <令和7年4月> 修士 (人間福祉学)※
		ソーシャルワーク演習IV ソーシャルワーク実習			ソーシャルワーク演習IV ソーシャルワーク実習			ソーシャルワーク演習IV ソーシャルワーク実習
兼任	講師	大山 高弘 (41) <令和6年4月> 修士(歴史学) (韓国)	兼任	講師	大山 高弘 (41) <令和6年4月> 修士(歴史学) (韓国)			
		朝鮮語入門A 朝鮮語入門B 朝鮮語会話A 朝鮮語会話B 朝鮮文化を学ぶ			朝鮮語入門A 朝鮮語入門B 朝鮮語会話A 朝鮮語会話B 朝鮮文化を学ぶ			
兼任	講師	岡田 章彦 (65) <令和7年4月> 教育学修士	兼任	講師	岡田 章彦 (65) <令和7年4月> 教育学修士			
		ことばの科学			ことばの科学			
兼任	講師	岡田 高志 (36) <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	岡田 高志 (36) <令和6年4月> 修士(文学)※	その他	講師	岡田 高志 (37) <令和6年4月> 修士(文学)※
		日本文化 日本文学 昔話研究			日本文化 日本文学 昔話研究			日本文化 日本文学 昔話研究
兼任	講師	岡崎 昌宏 (49) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	岡崎 昌宏 (49) <令和6年4月> 博士(文学)	その他	講師	岡崎 昌宏 (50) <令和6年4月> 博士(文学)
		文章表現			文章表現			文章表現
兼任	講師	荻野 勝行 (65) <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	荻野 勝行 (65) <令和6年4月> 修士(文学)※	その他	講師	荻野 勝行 (66) <令和6年4月> 修士(文学)※
		宗教学A 宗教学B 社会学概論A 社会学概論B 社会調査法A 社会調査法B			社会学概論A 社会学概論B 社会調査法A 社会調査法B 社会学入門 現代社会を学ぶ			社会学概論A 社会学概論B 社会学入門 現代社会を学ぶ
兼任	講師	尾崎 好子 (55) <令和7年10月> 米国ワシントン州立シアトルコ ミュニティカレッジ 日本校 (米国)	兼任	講師	尾崎 好子 (55) <令和7年10月> 米国ワシントン州立シアトルコ ミュニティカレッジ 日本校 (米国)	その他	講師	尾崎 好子 (56) <令和7年10月> 米国ワシントン州立シアトルコ ミュニティカレッジ 日本校 (米国)
		医療福祉システム論 I 医療福祉システム論 II			医療福祉システム論 I 医療福祉システム論 II			医療福祉システム論 I 医療福祉システム論 II

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	小田木 治太郎 (58) <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	小田木 治太郎 (58) <令和6年4月> 文学修士	その他	講師	小田木 治太郎 (59) <令和6年4月> 文学修士
		東洋史学			東洋史学			東洋史学
兼任	講師	小野 史郎 (74) <令和6年4月> 医学博士	兼任	講師	小野 史郎 (74) <令和6年4月> 医学博士	その他	講師	小野 史郎 (75) <令和6年4月> 医学博士
		生命科学入門※			生命科学入門※			生命科学入門※
兼任	講師	上垣内 俊行 (71) <令和6年10月> 薬学博士	兼任	講師	上垣内 俊行 (71) <令和6年10月> 薬学博士	その他	講師	上垣内 俊行 (72) <令和6年10月> 薬学博士
		くらしと化学			くらしと化学			くらしと化学
兼任	講師	河合 将生 (52) <令和8年4月> 政策科学修士	兼任	講師	河合 将生 (52) <令和8年4月> 政策科学修士	その他	講師	河合 将生 (53) <令和8年4月> 政策科学修士
		NPO・NGO論			NPO・NGO論			NPO・NGO論
兼任	講師	川本 理絵 (60) <令和7年4月> 言語文化学博士	兼任	講師	川本 理絵 (60) <令和7年4月> 言語文化学博士	その他	講師	川本 理絵 (61) <令和7年4月> 言語文化学博士
		朝鮮語会話A 朝鮮語会話B			朝鮮語会話A 朝鮮語会話B			朝鮮文化を学ぶ
兼任	講師	金(金原) 蓮花 (45) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	金(金原) 蓮花 (45) <令和6年4月> 博士(文学)	その他	講師	金(金原) 蓮花 (46) <令和6年4月> 博士(文学)
		中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B			中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B			中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B
兼任	講師	熊懐 祐樹 (47) <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	熊懐 祐樹 (47) <令和6年4月> 修士(文学)※	その他	講師	熊懐 祐樹 (48) <令和6年4月> 修士(文学)※
		英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション)			英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション)			英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合)
兼任	講師	庫本 篤 (71) <令和7年4月> 博士(工学)	兼任	講師	庫本 篤 (71) <令和7年4月> 博士(工学)	その他	講師	庫本 篤 (72) <令和7年4月> 博士(工学)
		情報社会学A 情報社会学B			情報社会学A 情報社会学B			情報社会学A 情報社会学B

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	児玉 公正 (67) <令和8年10月> 体育学修士	兼任	講師	児玉 公正 (67) <令和8年10月> 体育学修士	その他 特任教授	講師	児玉 公正 (68) <令和8年10月> 体育学修士
		スポーツコーチング学Ⅲ スポーツコーチング学Ⅳ			スポーツコーチング学Ⅲ スポーツコーチング学Ⅳ			スポーツコーチング学Ⅲ スポーツコーチング学Ⅳ
兼任	講師	酒井 仁美 (50) <令和7年4月> 修士 (学校教育学)	兼任	講師	酒井 仁美 (50) <令和7年4月> 修士 (学校教育学)	その他 講師	講師	酒井 仁美 (51) <令和7年4月> 修士 (学校教育学)
		司法・犯罪心理学			司法・犯罪心理学			司法・犯罪心理学
兼任	講師	坂上 加余子 (65) <令和6年4月> 文学修士※	兼任	講師	坂上 加余子 (65) <令和6年4月> 文学修士※	その他 講師	講師	坂上 加余子 (66) <令和6年4月> 文学修士※
		英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合)			英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合)			英語A(総合) 英語B(総合)
兼任	講師	坂田 龍彦 (71) <令和7年4月> 法学士	兼任	講師	坂田 龍彦 (71) <令和7年4月> 法学士			
		社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 福祉経営論			社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 福祉経営論			
兼任	講師	祐末(原田) ひとみ (44) <令和8年10月> 修士 (スポーツ科学)	兼任	講師	祐末(原田) ひとみ (44) <令和8年10月> 修士 (スポーツ科学)			
		スポーツコーチング学Ⅱ			スポーツコーチング学Ⅱ			
兼任	講師	高井 龍 (43) <令和6年4月> 博士(学術)	兼任	講師	高井 龍 (43) <令和6年4月> 博士(学術)			
		中国語入門A 中国語入門B			中国語入門A 中国語入門B			
兼任	講師	高野 保男 (32) <令和6年10月> 文学博士	兼任	講師	高野 保男 (32) <令和6年10月> 文学博士	その他 講師	講師	高野 保男 (33) <令和6年10月> 文学博士
		倫理学			倫理学			倫理学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	田辺 めぐみ (53) <令和6年4月> 博士 (美術史学)	兼任	講師	田辺 めぐみ (53) <令和6年4月> 博士 (美術史学)		講師	田辺 めぐみ (54) <令和6年4月> 博士 (美術史学)
		フランス語入門A フランス語入門B フランス語会話A フランス語会話B 西洋史学 美術史			フランス語入門A フランス語入門B フランス語会話A フランス語会話B 西洋史学 美術史			西洋史学 美術史
兼任	講師	趙 在毅 (41) <令和6年4月> 修士 (国際関係学)※	兼任	講師	趙 在毅 (41) <令和6年4月> 修士 (国際関係学)※		講師	寺田 知行 (71) <令和6年4月> 博士 (薬学)
		朝鮮語入門A 朝鮮語入門B 朝鮮語会話A 朝鮮語会話B			朝鮮語入門A 朝鮮語入門B 朝鮮語会話A 朝鮮語会話B			生命科学入門※
兼任	講師	寺田 知行 (70) <令和6年4月> 博士 (薬学)	兼任	講師	寺田 知行 (70) <令和6年4月> 博士 (薬学)		講師	寺田 知行 (71) <令和6年4月> 博士 (薬学)
		生命科学入門※			生命科学入門※			生命科学入門※
兼任	講師	土居 隆 (52) <令和6年10月> 修士 (学校教育学)					講師	
		発達心理学						
兼任	講師	友田 次郎 (47) <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	友田 次郎 (47) <令和6年4月> 文学修士		講師	
		ドイツ語入門A ドイツ語入門B ドイツ語会話A ドイツ語会話B ドイツ文化を学ぶ			ドイツ語入門A ドイツ語入門B ドイツ語会話A ドイツ語会話B ドイツ文化を学ぶ			
兼任	講師	中 郁子 (43) <令和6年4月> 修士 (外国語教育学)	兼任	講師	中 郁子 (43) <令和6年4月> 修士 (外国語教育学)		講師	中 郁子 (44) <令和6年4月> 修士 (外国語教育学)
		TOEIC入門A TOEIC入門B TOEIC A TOEIC B			TOEIC入門A TOEIC入門B TOEIC A TOEIC B			TOEIC入門A TOEIC入門B TOEIC A TOEIC B
兼任	講師	永井 泉 (52) <令和8年4月> 博士 (学術)	兼任	講師	永井 泉 (52) <令和6年4月> 博士 (学術)		講師	永井 泉 (53) <令和6年4月> 博士 (学術)
		教職文章表現			教職文章表現 日本文学			教職文章表現 日本文学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	中尾 将大 (48) <令和7年4月> 博士(学術)	兼任	講師	中尾 将大 (49) <令和7年4月> 博士(学術)		講師	中尾 将大 (50) <令和7年4月> 博士(学術)
		行動分析学 心理学実験IA 心理学実験IB 心理調査概論 心理学統計法 知覚・認知心理学 神経・生理心理学			行動分析学 心理学実験IA 心理学実験IB 心理調査概論 心理学統計法 知覚・認知心理学 神経・生理心理学			行動分析学 心理学実験IA 心理学実験IB 心理調査概論 心理学統計法 知覚・認知心理学 神経・生理心理学
兼任	講師	永谷 麻衣子 (57) <令和7年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	永谷 麻衣子 (57) <令和7年4月> 修士(文学)※	その他	講師	永谷 麻衣子 (58) <令和7年4月> 修士(文学)※
		ドイツ語会話A ドイツ語会話B			ドイツ語会話A ドイツ語会話B			ドイツ語会話A ドイツ語会話B ドイツ語入門A ドイツ語入門B
兼任	講師	中野 晃希 (27) <令和6年4月> 修士(言語文化学)				その他	講師	
		英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合)						
兼任	講師	中村(西尾) 奈々 (58) <令和6年4月> 文学修士※	兼任	講師	中村(西尾) 奈々 (58) <令和6年4月> 文学修士※	その他	講師	中村(西尾) 奈々 (58) <令和6年4月> 文学修士※
		フランス語入門A フランス語入門B フランス語会話A フランス語会話B			フランス語入門A フランス語入門B フランス語会話A フランス語会話B			フランス語入門A フランス語入門B フランス語会話A フランス語会話B
兼任	講師	西田 千裕 (54) <令和6年10月> 修士(教育学)				その他	講師	
		体育(講義を含む)						
兼任	講師	橋口 昌治 (46) <令和6年10月> 博士(学術)				その他	講師	
		経済と社会						
兼任	講師	濱田 武士 (45) <令和6年4月> 博士(社会学)				その他	講師	
		社会学入門 現代社会を学ぶ						

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	早川 智美 (50) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	早川 智美 (50) <令和6年4月> 博士(文学)	その他	講師	早川 智美 (51) <令和6年4月> 博士(文学)
		朝鮮語入門A 朝鮮語入門B 朝鮮語会話A 朝鮮語会話B			朝鮮語入門A 朝鮮語入門B 朝鮮語会話A 朝鮮語会話B			朝鮮語入門A 朝鮮語入門B
兼任	講師	早川 華代 (39) <令和7年4月> 博士(文学)	兼任	講師	早川 華代 (39) <令和7年4月> 博士(文学)	その他	講師	林 進 (71) <令和6年4月> 文学修士※
		日本の歌謡			日本の歌謡			比較文学
兼任	講師	林 進 (70) <令和6年4月> 文学修士※	兼任	講師	林 進 (70) <令和6年4月> 文学修士※	その他	講師	原口 美佐代 (68) <令和8年10月> 政治学士
		ドイツ語入門A ドイツ語入門B 比較文学			ドイツ語入門A ドイツ語入門B 比較文学			司法福祉論
兼任	講師	原口 美佐代 (67) <令和8年10月> 政治学士	兼任	講師	原口 美佐代 (67) <令和8年10月> 政治学士	その他	講師	東 昌紀 (62) <令和6年4月> 文学修士※
		司法福祉論			司法福祉論			哲学
兼任	講師	東 昌紀 (61) <令和6年4月> 文学修士※	兼任	講師	東 昌紀 (61) <令和6年4月> 文学修士※	その他	講師	樋口 尊子 (46) <令和6年4月> 言語教育情報学 修士
		哲学			哲学			日本語 I 日本語 II 日本文化を学ぶ
兼任	講師	樋口 尊子 (45) <令和6年4月> 言語教育情報学 修士	兼任	講師	樋口 尊子 (45) <令和6年4月> 言語教育情報学 修士	その他	講師	日本語 I 日本語 II 日本文化を学ぶ
		日本語 I 日本語 II 日本文化を学ぶ			日本語 I 日本語 II 日本文化を学ぶ			兵 純子 (47) <令和8年4月> 修士 (臨床心理学)
兼任	講師	兵 純子 (46) <令和8年4月> 修士 (臨床心理学)	兼任	講師	兵 純子 (46) <令和8年4月> 修士 (臨床心理学)	その他	講師	臨床産業・組織心理学
		臨床産業・組織心理学			臨床産業・組織心理学			臨床産業・組織心理学
兼任	講師	平野 裕子 (44) <令和7年4月> 博士(学術)	兼任	講師	平野 裕子 (44) <令和7年4月> 博士(学術)	その他	講師	平野 裕子 (45) <令和7年4月> 博士(学術)
		保育の心理学			保育の心理学			保育の心理学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	広瀬 美千代 (64) <令和7年4月> 博士(学術)	兼任	講師	広瀬 美千代 (64) <令和7年4月> 博士(学術)	その他	講師	広瀬 美千代 (65) <令和7年4月> 博士(学術)
		ソーシャルワーク演習Ⅲ			ソーシャルワーク演習Ⅲ			ソーシャルワーク演習Ⅲ
兼任	講師	福嶋 尊史 (39) <令和7年10月> 学士 (スポーツ学)	兼任	講師	福嶋 尊史 (39) <令和7年10月> 学士 (スポーツ学)			
		障がい者スポーツ指導論			障がい者スポーツ指導論			
兼任	講師	藤澤 秀平 (63) <令和6年4月> 文学修士※ D.E.A. (高等教育免状) (フランス)	兼任	講師	藤澤 秀平 (63) <令和6年4月> 文学修士※ D.E.A. (高等教育免状) (フランス)	その他	講師	藤澤 秀平 (64) <令和6年4月> 文学修士※ D.E.A. (高等教育免状) (フランス)
		フランス語入門A フランス語入門B フランス語会話A フランス語会話B フランス文化を学ぶ			フランス語入門A フランス語入門B フランス語会話A フランス語会話B フランス文化を学ぶ			フランス語入門A フランス語入門B フランス語会話A フランス語会話B フランス文化を学ぶ
兼任	講師	別府 陽子 (66) <令和6年4月> 文学修士※	兼任	講師	別府 陽子 (66) <令和6年4月> 文学修士※	その他	講師	別府 陽子 (67) <令和6年4月> 文学修士※
		ドイツ語入門A ドイツ語入門B ドイツ語会話A ドイツ語会話B			ドイツ語入門A ドイツ語入門B ドイツ語会話A ドイツ語会話B			ドイツ語入門A ドイツ語入門B ドイツ語会話A ドイツ語会話B ドイツ文化を学ぶ
兼任	講師	前川 敦 (63) <令和8年4月> 教育学士	兼任	講師	前川 敦 (63) <令和8年4月> 教育学士	その他	講師	前川 敦 (64) <令和8年4月> 教育学士
		権利擁護と成年後見論 ソーシャルワーク実習			権利擁護と成年後見論 ソーシャルワーク実習			権利擁護と成年後見論 ソーシャルワーク実習
兼任	講師	前嶋 弘 (61) <令和7年10月> 修士(学術)	兼任	講師	前嶋 弘 (61) <令和7年10月> 修士(学術)	その他	講師	前嶋 弘 (62) <令和7年10月> 修士(学術)
		貧困に対する支援			貧困に対する支援			貧困に対する支援
兼任	講師	松岡 とも子 (44) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	松岡 とも子 (44) <令和6年4月> 博士(文学)	その他	講師	松岡 とも子 (45) <令和6年4月> 博士(文学)
		朝鮮語入門A 朝鮮語入門B			朝鮮語入門A 朝鮮語入門B			朝鮮語入門A 朝鮮語入門B
兼任	講師	松村 徳子 (61) <令和6年4月> 文学士	兼任	講師	松村 徳子 (61) <令和6年4月> 文学士	その他	講師	松村 徳子 (62) <令和6年4月> 文学士
		同和教育※			同和教育※			同和教育※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	向井(井上)有理子 (48) <令和6年10月> 文学修士※	兼任	講師	向井(井上)有理子 (48) <令和6年10月> 文学修士※	その他	講師	向井(井上)有理子 (49) <令和6年10月> 文学修士※
		統計学I 統計学II 社会・集団・家族心理学B			統計学I 統計学II 社会・集団・家族心理学B			統計学I 統計学II 社会・集団・家族心理学B
兼任	講師	村尾敏彦 (70) <令和8年4月> 文学修士※	兼任	講師	村尾敏彦 (70) <令和8年4月> 文学修士※	その他	講師	村尾敏彦 (71) <令和8年4月> 文学修士※
		メディアの英語			メディアの英語			メディアの英語
兼任	講師	安田幸子 (67) <令和6年4月> 文学修士	兼任	講師	安田幸子 (67) <令和6年4月> 文学修士	その他	講師	安田幸子 (68) <令和6年4月> 文学修士
		英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合)			英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合)			英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合)
兼任	講師	山内貴 (50) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	山内貴 (50) <令和6年4月> 修士(文学)	その他	講師	山内貴 (51) <令和6年4月> 修士(文学)
		中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B 中国文化を学ぶ			中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B 中国文化を学ぶ			中国文化を学ぶ
兼任	講師	山下仰 (68) <令和8年4月> 理学修士 医学博士	兼任	講師	山下仰 (68) <令和8年4月> 理学修士 医学博士	その他	講師	山下仰 (69) <令和8年4月> 理学修士 医学博士
		精神疾患とその治療			精神疾患とその治療			精神疾患とその治療
兼任	講師	山田貞子 (66) <令和6年10月> 教育学修士	兼任	講師	山田貞子 (66) <令和6年10月> 教育学修士	その他	講師	山田貞子 (67) <令和6年10月> 教育学修士
		体育(講義を含む)			体育(講義を含む)			体育(講義を含む)
兼任	講師	山本浩史 (40) <令和6年4月> 修士(文学)※	兼任	講師	山本浩史 (40) <令和6年4月> 修士(文学)※	その他	講師	山本浩史 (41) <令和6年4月> 修士(文学)※
		中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B			中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B			中国語入門A 中国語入門B
兼任	講師	梁千賀子 (65) <令和6年4月> 学士(文学)	兼任	講師	梁千賀子 (65) <令和6年4月> 学士(文学)	その他	講師	梁千賀子 (66) <令和6年4月> 学士(文学)
		同和教育※			同和教育※			同和教育※

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	油谷 佳典 (66) <令和8年4月> 経営学修士	兼任	講師	油谷 佳典 (66) <令和8年4月> 経営学修士		講師	油谷 佳典 (67) <令和7年4月> 経営学修士
		ソーシャルワークの理論と方法 III ソーシャルワークの理論と方法 IV ソーシャルワーク実習			ソーシャルワークの理論と方法 III ソーシャルワークの理論と方法 IV ソーシャルワーク実習			ソーシャルワークの理論と方法 III ソーシャルワークの理論と方法 IV ソーシャルワーク実習 社会保障論 I 社会保障論 II 福祉経営論
兼任	講師	尹 明花 (46) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	尹 明花 (46) <令和6年4月> 修士(文学)		講師	尹 明花 (47) <令和6年4月> 修士(文学)
		朝鮮語入門A 朝鮮語入門B 朝鮮語会話A 朝鮮語会話B			朝鮮語入門A 朝鮮語入門B 朝鮮語会話A 朝鮮語会話B			朝鮮語入門A 朝鮮語入門B 朝鮮語会話A 朝鮮語会話B
兼任	講師	吉田 祐一郎 (45) <令和7年4月> 修士(社会福祉学)※	兼任	講師	吉田 祐一郎 (45) <令和7年4月> 修士(社会福祉学)※		講師	吉田 祐一郎 (46) <令和7年4月> 修士(社会福祉学)※
		地域福祉論 I 地域福祉論 II			地域福祉論 I 地域福祉論 II			地域福祉論 I 地域福祉論 II
兼任	講師	Terence A. Lancashire (68) <令和6年10月> 博士(文学)	兼任	講師	Terence A. Lancashire (68) <令和6年10月> 博士(文学)		特任教授	Terence A. Lancashire (69) <令和6年10月> 博士(文学)
		日本文化			日本文化			日本文化
兼任	講師	劉 亭 (39) <令和6年4月> 修士(文学)	兼任	講師	劉 亭 (39) <令和6年4月> 修士(文学)		講師	劉 亭 (40) <令和6年4月> 修士(文学)
		中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B			中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B			中国語入門A 中国語入門B 中国語会話A 中国語会話B
兼任	講師	和田 匡司 (44) <令和6年4月> 博士(工学)	兼任	講師	和田 匡司 (44) <令和6年4月> 博士(工学)		講師	和田 匡司 (45) <令和6年4月> 博士(工学)
		自然科学史			自然科学史			自然科学史
			兼任	講師	金井 友厚 (68) <令和6年4月> 教育学士	その他	講師	金井 友厚 (69) <令和6年4月> 教育学士
					英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション)			英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション)
			兼任	講師	坂口 尚希 (42) <令和6年10月> スポーツ科学修士	その他	講師	坂口 尚希 (43) <令和6年10月> スポーツ科学修士
					体育(講義を含む)			体育(講義を含む)

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名	
		専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	講師
		兼任	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	王 世楨 (33) <令和7年4月> 博士(文学)
		中国語入門A 中国語入門B
その他	講師	草野 勝 (29) <令和7年4月> 博士(文学)
		ことばの科学
その他	講師	小林 摩耶 (47) <令和7年4月> 修士(英語英文学)※
		英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合)
その他	講師	櫻井 俊輔 (31) <令和7年10月> 学士(スポーツ学)
		障がい者スポーツ指導論
その他	講師	貞國 貴信 (49) <令和7年4月> 学士(法学)
		ロジカルシンキング ロジカルコミュニケーション 社会教養基礎 数学教養基礎
その他	講師	瀧川 和子 (66) <令和7年4月> 修士(文学)※
		英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション) 英語A(総合) 英語B(総合)
その他	講師	東野 ツヤ子 (62) <令和7年4月> 修士(言語科学)※
		英語A(コミュニケーション) 英語B(コミュニケーション)
その他	講師	白 秀珍 (54) <令和7年4月> 修士(学術)※
		朝鮮語入門A 朝鮮語入門B
その他	講師	北條 晓子 (46) <令和7年4月> 博士(文学)
		日本の歌謡

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。
- なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼担教員）を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」（改正後大学設置基準等の適用以前は「専任教員等区分」）の順に記入してください。
- ・改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。（大学院、高等専門学校は除く）
- ・教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和6年度】

- 担当科目的変更により貴名 謙教授の就任が令和6年10月から令和6年4月に変更。
- 担当科目的変更により永井 泉講師の就任が令和8年4月から令和6年4月に変更。
- 令和6年4月、新規採用により岩田 真美氏が兼任教授として着任。
- 令和6年4月、新規採用により水口 陽子氏が兼任准教授として着任。
- 令和6年4月、新規採用により西野 祐司氏が兼任講師として着任。
- 令和6年4月、井上 新子兼任講師が、兼任准教授として着任。
- 令和6年4月、井上 美智子兼任講師が、兼任特任教授として着任。
- 令和6年4月、新規採用により金井 友厚氏が兼任講師として着任。
- 令和6年10月、新規採用により坂口 尚希氏が兼任講師として着任。
- 令和6年10月、新規採用により中村 一也氏が兼任講師として着任。
- 令和6年4月、新規採用により花光 真弓氏が兼任講師として着任。
- 令和6年4月、新規採用により深田 將揮氏が兼任講師として着任。
- 令和6年10月、新規採用により逸見 世自在氏が兼任講師として着任。
- 令和6年10月、新規採用により前橋 利寿氏が兼任講師として着任。
- 令和6年10月、新規採用により安田 智博氏が兼任講師として着任。
- 授業運営上の理由により「宗教学A」の担当教員を荻野 勝行講師から岩田 真美教授に変更。
- 授業運営上の理由により「宗教学B」の担当教員を荻野 勝行講師から貴名 謙教授に変更。
- 授業運営上の理由により、「新入生セミナー」の担当教員を小西 宏幸教授、田沢 晶子教授、秦 康宏教授、船本 淑恵教授、浅野 浩子准教授、井手 沙織准教授、植木 是准教授、上西 裕之准教授、安田 傑准教授、河崎 俊博講師、谷 俊英講師から秦 康宏教授、浅野 浩子准教授、井手 沙織准教授、植木 是准教授、上西 裕之准教授、安田 傑准教授、河崎 俊博講師、谷 俊英講師に変更。担当教員が3名減となるが、科目運営上、支障はない。
- 授業運営上の理由により「英語A(コミュニケーション)」の担当教員を鈴木 幸平准教授、Beh Siewkee准教授、熊懷 祐樹講師、坂上 加余子講師、中野 晃希講師、安田 幸子講師から鈴木 幸平准教授、水口 陽子准教授、金井 友厚講師、熊懷 祐樹講師、坂上 加余子講師、安田 幸子講師に変更。
- 授業運営上の理由により「英語B(コミュニケーション)」の担当教員を鈴木 幸平准教授、Beh Siewkee准教授、熊懷 祐樹講師、坂上 加余子講師、中野 晃希講師、安田 幸子講師から鈴木 幸平准教授、水口 陽子准教授、金井 友厚講師、熊懷 祐樹講師、坂上 加余子講師、安田 幸子講師に変更。
- 授業運営上の理由により「体育(講義を含む)」の担当教員を西田 千裕講師、山田 貞子講師から坂口 尚希講師、山田 貞子講師に変更。
- 授業運営上の理由により「日本文学」の担当教員を岡田 高志講師から岡田 高志講師、永井 泉講師に変更。担当教員が1名増となる。
- 授業運営上の理由により「仏教学」の担当教員を貴名 謙教授から逸見 世自在講師に変更。
- 授業運営上の理由により「経済と社会」の担当教員を橋口 昌治講師から安田 智博講師に変更。
- 授業運営上の理由により「社会学入門」の担当教員を濱田 武士講師から荻野 勝行講師に変更。
- 授業運営上の理由により「現代社会を学ぶ」の担当教員を濱田 武士講師から荻野 勝行講師に変更。
- 授業運営上の理由により「ロジカルシンキング」の担当教員を尾川 信之講師から花光 真弓講師に変更。
- 授業運営上の理由により「ロジカルコミュニケーション」の担当教員を尾川 信之講師から花光 真弓講師に変更。
- 授業運営上の理由により「TOEIC Practice A」の担当教員を上田 文子講師から深田 將揮講師に変更。
- 授業運営上の理由により「TOEIC Practice B」の担当教員を上田 文子講師から深田 将揮講師に変更。
- 授業運営上の理由により「海外研修A(英語圏)」の担当教員を岡島 克樹教授、中島 悠介准教授、Beh Siewkee准教授から岡島 克樹教授、鈴木 幸平准教授、Beh Siewkee准教授に変更。
- 授業運営上の理由により「海外研修B(英語圏)」の担当教員を岡島 克樹教授、中島 悠介准教授、Beh Siewkee准教授から岡島 克樹教授、鈴木 幸平准教授、Beh Siewkee准教授に変更。
- 授業運営上の理由により「教職総合ベーシックⅠ」の担当教員を岩井 晃子特任教授から前橋 利寿講師に変更。
- 授業運営上の理由により「教職総合ベーシックⅡ」の担当教員を岩井 晃子特任教授から中村 一也講師に変更。
- 授業運営上の理由により「人間と社会A」の担当教員を岡島 克樹教授、中村 雅司教授、藤原 崇教授、船本 淑恵教授、吉川 真由美教授、井手 沙織准教授、小林 未季代准教授から岡島 克樹教授、中村 雅司教授、藤原 崇教授、船本 淑恵教授、井手 沙織准教授、小林 未季代准教授、西野 祐司講師に変更。
- 授業運営上の理由により「発達心理学」の担当教員を土居 隆講師から井手 沙織准教授に変更。
- 授業運営上の理由により「資格・検定認定(複数型)」の担当教員を岡島 克樹教授から小西 宏幸教授に変更。
- 授業運営上の理由により「資格・検定認定(上級型)」の担当教員を岡島 克樹教授から小西 宏幸教授に変更。

【令和7年度】

- ・井手 沙織准教授辞任により、令和7年4月、宮谷 祐史氏が専任講師として着任。
- ・令和7年4月、安田 傑准教授が、教授に昇格。
- ・令和7年4月、谷 俊英専任講師が、准教授に昇格。
- ・令和7年4月、竹歳 賢一兼担准教授が、兼担教授に昇格。
- ・令和7年4月、久保山 力也兼担講師が、兼担准教授に昇格。
- ・前田 裕介助教の職位を訂正。
- ・令和7年4月、Terence A. Lancashire兼任講師が、兼担特任教授として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により内井 喜美子氏が兼担准教授として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により王地 裕介氏が兼担講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により楠本 豊氏が兼担教授として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により初田 泰敏氏が兼担特任教授として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により向 晃佑氏が兼担講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により村田 崇暢氏が兼担講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により安倍 尚紀氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により安藤 友里氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により以倉 理恵氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により王 世禎氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により草野 勝氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により小林 摩耶氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年10月、新規採用により櫻井 俊輔氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により貞國 貴信氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により瀧川 和子氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により東野 ツヤ子氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により白 秀珍氏が兼任講師として着任。
- ・令和7年4月、新規採用により北條 曜子氏が兼任講師として着任。
- ・担当科目的変更により岩井 晃子特任教授の就任が令和6年10月から令和7年4月に変更。あわせて兼任講師としての就任が令和7年4月から令和8年4月に変更。
- ・担当科目的変更により油谷 佳典講師の就任が令和8年4月から令和7年4月に変更。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「新入生セミナー」を「情報リテラシー」に変更し、担当教員を秦 康宏教授、浅野 浩子准教授、井手 沙織准教授、植木 是准教授、上西 裕之准教授、安田 傑准教授、河崎 俊博講師、谷 俊英講師から前田 裕介助教、初田 泰敏特任教授に変更。
- ・授業運営上の理由により「英語A(コミュニケーション)」の担当教員を鈴木 幸平准教授、水口 陽子准教授、金井 友厚講師、熊懷 祐樹講師、坂上 加余子講師、安田 幸子講師から水口 陽子准教授、熊懷 祐樹講師、以倉 理恵講師、金井 友厚講師、小林 摩耶講師、瀧川 和子講師、東野 ツヤ子講師、深田 將揮講師、安田 幸子講師に変更。3名増となる。
- ・授業運営上の理由により「英語B(コミュニケーション)」の担当教員を鈴木 幸平准教授、水口 陽子准教授、金井 友厚講師、熊懷 祐樹講師、坂上 加余子講師、安田 幸子講師から水口 陽子准教授、熊懷 祐樹講師、以倉 理恵講師、金井 友厚講師、小林 摩耶講師、瀧川 和子講師、東野 ツヤ子講師、深田 將揮講師、安田 幸子講師に変更。3名増となる。
- ・授業運営上の理由により「英語A(総合)」の担当教員を鈴木 幸平准教授、坂上 加余子講師、安田 幸子講師から熊懷 祐樹講師、坂上 加余子講師、安田 幸子講師、小林 摩耶講師、瀧川 和子講師に変更。2名増となる。
- ・授業運営上の理由により「英語B(総合)」の担当教員を鈴木 幸平准教授、坂上 加余子講師、安田 幸子講師から熊懷 祐樹講師、坂上 加余子講師、安田 幸子講師、小林 摩耶講師、瀧川 和子講師に変更。2名増となる。
- ・授業運営上の理由により「ドイツ語入門A」の担当教員を友田 次郎講師、林 進講師、別府 陽子講師から永谷 麻衣子講師、別府 陽子講師に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「ドイツ語入門B」の担当教員を友田 次郎講師、林 進講師、別府 陽子講師から永谷 麻衣子講師、別府 陽子講師に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「ドイツ語会話A」の担当教員を友田 次郎講師、別府 陽子講師、永谷 麻衣子講師から永谷 麻衣子講師、別府 陽子講師に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「ドイツ語会話B」の担当教員を友田 次郎講師、別府 陽子講師、永谷 麻衣子講師から永谷 麻衣子講師、別府 陽子講師に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「ドイツ文化を学ぶ」の担当教員を友田 次郎講師から別府 陽子講師に変更。
- ・授業運営上の理由により「フランス語入門A」の担当教員を中村 奈々講師、藤澤 秀平講師、田辺 めぐみ講師から中村 奈々講師、藤澤 秀平講師に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「フランス語入門B」の担当教員を中村 奈々講師、藤澤 秀平講師、田辺 めぐみ講師から中村 奈々講師、藤澤 秀平講師に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「フランス語会話A」の担当教員を中村 奈々講師、藤澤 秀平講師、田辺 めぐみ講師から中村 奈々講師、藤澤 秀平講師に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「フランス語会話B」の担当教員を中村 奈々講師、藤澤 秀平講師、田辺 めぐみ講師から中村 奈々講師、藤澤 秀平講師に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「中国語入門A」の担当教員を青山 剛一郎講師、井戸 有紀講師、高井 龍講師、山内 貴講師、山本 浩史講師、金 蓮花講師、劉 亭講師から青山 剛一郎講師、山本 浩史講師、金 蓮花講師、劉 亭講師に変更。2名減となる。
- ・授業運営上の理由により「中国語入門B」の担当教員を青山 剛一郎講師、井戸 有紀講師、高井 龍講師、山内 貴講師、山本 浩史講師、金 蓮花講師、劉 亭講師から青山 剛一郎講師、山本 浩史講師、金 蓮花講師、劉 亭講師に変更。2名減となる。
- ・授業運営上の理由により「中国語会話A」の担当教員を青山 剛一郎講師、井戸 有紀講師、山内 貴講師、山本 浩史講師、金 蓮花講師、劉 亭講師から金 蓮花講師、劉 亭講師に変更。4名減となる。
- ・授業運営上の理由により「中国語会話B」の担当教員を青山 剛一郎講師、井戸 有紀講師、山内 貴講師、山本 浩史講師、金 蓮花講師、劉 亭講師から金 蓮花講師、劉 亭講師に変更。4名減となる。
- ・授業運営上の理由により「朝鮮語入門A」の担当教員を大山 高弘講師、趙 在毅講師、早川 智美講師、松岡 とも子講師、尹 明花講師、から、早川 智美講師、松岡 とも子講師、尹 明花講師、白 秀珍講師に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「朝鮮語入門B」の担当教員を大山 高弘講師、趙 在毅講師、早川 智美講師、松岡 とも子講師、尹 明花講師、から、早川 智美講師、松岡 とも子講師、尹 明花講師、白 秀珍講師に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「朝鮮語会話A」の担当教員を大山 高弘講師、川本 理絵講師、趙 在毅講師、早川 智美講師、尹 明花講師から、尹 明花講師に変更。4名減となる。
- ・授業運営上の理由により「朝鮮語会話B」の担当教員を大山 高弘講師、川本 理絵講師、趙 在毅講師、早川 智美講師、尹 明花講師から、尹 明花講師に変更。4名減となる。
- ・授業運営上の理由により「朝鮮文化を学ぶ」の担当教員を大山 高弘講師から、川本 理絵講師に変更。
- ・授業運営上の理由により「体育(講義を含む)」の担当教員を坂口 尚希講師、山田 貞子講師から、坂口 尚希講師、山田 貞子講師、西野 祐司講師に変更。1名増となる。
- ・授業運営上の理由により「文章表現」の担当教員を井上 新子准教授、岡崎 昌宏講師から井上 新子准教授、岡崎 昌宏講師、安藤 友里講師に変更。1名増となる。
- ・授業運営上の理由により「ことばの科学」の担当教員を岡田 章彦講師から草野 勝講師に変更。
- ・授業運営上の理由により「日本の歌謡」の担当教員を早川 華代講師から北條 曜子講師に変更。
- ・授業運営上の理由により「メディア論」の担当教員を秋吉 康晴講師から安倍 尚紀講師に変更。
- ・授業運営上の理由により「ロジカルシンキング」の担当教員を尾川 信之講師、花光 真弓講師から中村 一也講師、花光 真弓講師、貞國 貴信講師に変更。1名増となる。
- ・授業運営上の理由により「ロジカルコミュニケーション」の担当教員を尾川 信之講師、花光 真弓講師から中村 一也講師、花光 真弓講師、貞國 貴信講師に変更。1名増となる。
- ・授業運営上の理由により「社会教養基礎」の担当教員を尾川 信之特任教授から貞國 貴信講師に変更。
- ・授業運営上の理由により「数学教養基礎」の担当教員を尾川 信之特任教授から貞國 貴信講師に変更。
- ・授業運営上の理由により「海外研修A(英語圏)」の担当教員を岡島 克樹教授、鈴木 幸平准教授、Beh Siewkee准教授から鈴木 幸平准教授、Beh Siewkee准教授に変更。1名減となる。
- ・授業運営上の理由により「海外研修B(英語圏)」の担当教員を岡島 克樹教授、鈴木 幸平准教授、Beh Siewkee准教授から鈴木 幸平准教授、Beh Siewkee准教授に変更。1名減となる。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「教育インターンシップI」と「教育インターンシップII」を「教育インターンシップ」に統合し、担当教員を岩井 晃子特任教授、奥 薫 みどり特任教授、芝本 哲也特任教授、松下 廣伸特任教授から岩井 晃子特任教授、奥 薫 みどり特任教授、芝本 哲也特任教授、松下 廣伸特任教授、向 晃佑講師に変更。1名増となる。
- ・授業運営上の理由により、「基礎ゼミI(学習技術)」の担当教員を秦 康宏教授、浅野 浩子准教授、井手 沙織准教授、植木 是准教授、上西 裕之准教授、安田 傑教授、河崎 俊博講師、谷 俊英准教授から田沢 晶子教授、宮谷 祐史講師、浅野 浩子准教授、植木 是准教授、上西 裕之准教授、安田 傑教授、河崎 俊博講師、谷 俊英准教授に変更。
- ・授業運営上の理由により「基礎ゼミII(研究入門)」の担当教員を小西 宏幸教授、田沢 晶子教授、秦 康宏教授、船本 淑恵教授、浅野 浩子准教授、井手 沙織准教授、

植木 是准教授、上西 裕之准教授、安田 傑教授、河崎 俊博講師、谷 俊英准教授から宮谷 祐史講師、田沢 晶子教授、浅野 浩子准教授、植木 是准教授、上西 裕之准教授、河崎 俊博講師、谷 俊英准教授、秦 康宏教授、安田 傑教授に変更。

・授業運営上の理由により「人間と社会A」の担当教員を岡島 克樹教授、中村 雅司教授、藤原 崇教授、船本 淑恵教授、井手 沙織准教授、小林 未季代准教授、西野 祐司講師から岡島 克樹教授、中村 雅司教授、藤原 崇教授、船本 淑恵教授、小林 未季代准教授、西野 祐司講師、宮谷 祐史に変更。

・授業運営上の理由により「心理・福祉学入門」の担当教員を浅野 浩子准教授、井手 沙織准教授、植木 是准教授、上西 裕之准教授、河崎 俊博講師、小西 宏幸教授、田沢 晶子教授、谷 俊英准教授、秦 康宏教授、船本 淑恵教授、安田 傑教授から浅野 浩子准教授、植木 是准教授、上西 裕之准教授、河崎 俊博講師、小西 宏幸教授、田沢 晶子教授、谷 俊英准教授、秦 康宏教授、船本 淑恵教授、安田 傑教授、宮谷 祐史講師に変更。

・授業運営上の理由により「ゼミナールI」の担当教員を井手 沙織准教授から宮谷 祐史講師に変更。

・授業運営上の理由により「ゼミナールII」の担当教員を井手 沙織准教授から宮谷 祐史講師に変更。

・授業運営上の理由により「卒業研究」の担当教員を井手 沙織准教授から宮谷 祐史講師に変更。

・授業運営上の理由により「基礎コミュニケーション演習」の担当教員を小西 宏幸教授、浅野 浩子准教授、植木 是准教授、河崎 俊博講師から安田 傑教授、浅野 浩子准教授、植木 是准教授、河崎 俊博講師に変更。

・授業運営上の理由により「臨床心理学総論」の担当教員を井手 沙織准教授、小西 宏幸教授、田沢 晶子教授、浅野 浩子准教授、上西 裕之准教授、安田 傑教授、河崎 俊博講師から小西 宏幸教授、田沢 晶子教授、浅野 浩子准教授、上西 裕之准教授、安田 傑教授、河崎 俊博講師、宮谷 祐史講師に変更。

・授業運営上の理由により「発達心理学」の担当教員を井手 沙織准教授から宮谷 祐史講師に変更。

・授業運営上の理由により「心理・福祉総合演習」の担当教員を井手 沙織准教授から宮谷 祐史講師に変更。

・授業運営上の理由により「臨床教育・学校心理学」の担当教員を井手 沙織准教授から宮谷 祐史講師に変更。

・授業運営上の理由により「心理実習」の担当教員を井手 沙織准教授、小西 宏幸教授、田沢 晶子教授、浅野 浩子准教授、上西 裕之准教授、河崎 俊博講師から宮谷 祐史講師、小西 宏幸教授、田沢 晶子教授、浅野 浩子准教授、上西 裕之准教授、河崎 俊博講師に変更。

・授業運営上の理由により「障害者・障害児心理学」の担当教員を井手 沙織准教授から宮谷 祐史講師に変更。

・授業運営上の理由により「社会保障論I」の担当教員を坂田 龍彦講師から油谷 佳典講師に変更。

・授業運営上の理由により「社会保障論II」の担当教員を坂田 龍彦講師から油谷 佳典講師に変更。

・授業運営上の理由により「福祉経営論」の担当教員を坂田 龍彦講師から油谷 佳典講師に変更。

・授業運営上の理由により「経済学概論A」の担当教員を近藤 篤俊教授から近藤 篤俊教授、村田 崇暢講師に変更。1名増となる。

・授業運営上の理由により「経済学概論B」の担当教員を近藤 篤俊教授から村田 崇暢講師に変更。

・授業運営上の理由により「マーケティング論」の担当教員を藤原 崇教授から王地 裕介講師に変更。

・授業運営上の理由により「社会調査法A」の担当教員を荻野 勝行講師から王地 裕介講師に変更。

・授業運営上の理由により「社会調査法B」の担当教員を荻野 勝行講師から王地 裕介講師に変更。

・授業運営上の理由により「スポーツキャリアデザイン」の担当教員を中道 厚子教授から西野 祐司講師に変更。

・授業運営上の理由により「障がい者スポーツ指導論」の担当教員を福嶋 尊史講師から櫻井 俊輔講師に変更。

・授業運営上の理由により「スポーツコーチング学II」の担当教員を祐末ひとみ講師から西野 祐司講師に変更。

・授業運営上の理由により「社会研究実習(事前事後の指導を含む)」の担当教員を藤原 崇教授、久保山 力也准教授、泉 健介講師、浅野 浩子准教授、河崎 俊博講師、谷 俊英准教授、船本 淑恵教授から王地 裕介講師、久保山 力也准教授、泉 健介講師、西野 祐司講師、浅野 浩子准教授、河崎 俊博講師、谷 俊英准教授、船本 淑恵教授に変更。1名増となる。

・授業運営上の理由により「資格・検定認定(複数型)」の担当教員を小西 宏幸教授から秦 康宏教授に変更。

・授業運営上の理由により「資格・検定認定(上級型)」の担当教員を小西 宏幸教授から秦 康宏教授に変更。

(注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・**認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めていた事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。

・A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（ α ）	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（ (α) の4分の3以上）	
8 名	4 名	6 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。

- ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計） (A'')	助 手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計） (B'')	助 手 (B')
4 (4)	5 (5)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	11 (11)	0 (0)	5 [5]	4 [4]	2 [2]	0 [0]	11 [11]	11 [11]	0 [0]
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計） (C'')	助 手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計） (D'')	助 手 (D')
5 [5]	4 [△1]	2 [0]	0 [0]	11 [0]	11 [0]	0 [0]	5 [1]	4 [△1]	2 [0]	0 [0]	11 [0]	11 [0]	0 [0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計）」として記入してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、

「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。

また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A'）」欄には「-」を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、

教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、

「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
満65 歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{11}{11} = \boxed{100} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{11}{11} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C'）}}{\text{設置時の計画（A'）}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

（3） 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
		該当なし												
合計（D）					後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)					
0 人		必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目				
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目				
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目				
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目				

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（3）-②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) ② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	井手 沙織	R7. 3	必修	基礎ゼミ I (学習技術)	①	R7. 3. 31付け依願退職のため辞任。令和6年度中に後任の基幹教員を採用し科目を担当。 (7)
				必修	基礎ゼミ II (研究入門)	①	
				必修	人間と社会A※	①	
				必修	心理・福祉学入門※	①	
				必修	ゼミナール I	①	
				必修	ゼミナール II	①	
				必修	卒業研究	①	
				選択	心理・福祉総合演習	①	
				選択	臨床教育・学校心理学	①	
				選択	心理実習	①	
				選択	障害者・障害児心理学	①	
				選択	臨床心理学総論	①	
				選択	発達心理学	①	
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	
1 人		必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目
		選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

(学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -①・(3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1 人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	6 科目	選択	6 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \boxed{\frac{1}{11}} = \boxed{9.09} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F)と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計				後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注)・ **定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目的後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職により専任教員が辞任したが、後任の基幹教員を採用し科目を担当する。学生には、シラバスや時間割表を通じて周知を行っている。

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし		

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

＜人間社会学部心理・福祉学科＞

（1）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、本学の教育理念および研究科、学部等の教育目標を踏まえた授業内容および方法の改善を図るための組織的な研修や研究を積極的・継続的に取組む組織としてFD部会を設置している。このFD部会は学部・研究科に関わる自己点検評価を行うために必要な事項を統括する内部質保証推進委員会の下部組織であり、「大阪大谷大学内部質保証に関する規程」に基づき、大阪大谷大学の全学的なFDを推進する組織として位置づけられている。</p> <p>FD部会では、授業改善のための基本方針の策定、研修会及び講習会の開催、教員の教授活動相互研鑽、学生による授業評価の実施、学生の勉学能力の育成、学部間共通カリキュラムの開発支援等について検討し部会長の教育・学修支援センター長を中心にFD活動を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD部会は教育・学修支援センター長を部会長とし、教務部長、副学長、各研究科長、各学部長、各学科および教育・学修支援センター教員から選出された教員（各1名）、事務局長を委員として、毎月第3水曜日に開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD部会 (FD部会要項 第3条)</p> <p>(1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項</p> <p>(2) 研修会および講習会の開催に関する事項</p> <p>(3) 教員の教授活動相互研鑽に関する事項</p> <p>(4) 授業評価の実施に関する事項</p> <p>(5) 学生の学修能力の育成に関する事項</p>
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>記入例)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 授業方法について研究会・ 教員相互の授業参観・ 新任教員のための研修会 等 <p>・ FD活動方針の決定</p> <p>・ 学生による授業評価と教員による授業公開</p> <p>・ 授業参観制度</p> <p>・ 学生教育改善会議について</p> <p>・ FD講演会・研修会の開催</p>

b 実施方法

・学生による授業評価

「学生による授業評価」は原則として専任教員及び非常勤教員の担当する全授業科目について、前期と後期の2回WEB実施した。学生による授業評価の結果に対して、教員はその評価結果の分析、改善計画を記入した「評価考察シート」を作成し、授業改善の方策を考察する体制をとっている。なお、「学生による授業評価」のアンケート結果については、大学のWEBポータルサイト「Active Academy」上で閲覧を可能にしている。文学研究科は履修生数が少人数であるため、記述式の授業評価アンケートのデータを院生に配布し、教務課がとりまとめ、大学院教員に結果を提示し、改善を求めている。

・教員による授業公開

各学科で授業公開する科目を設定し、各教員は他の教員が公開する授業を最低1回見学し、参観後Formsにコメントを記入する。

・学生教育改善会議の開催

本学のカリキュラムや授業方法、成績評価等について、教育改善に向けて学生と意見交換を行うWEB会議を開催した。その後、学生からの指摘事項や本学の改善点、取組等について、会議の内容を報告書にまとめ、WEBに掲載した。

・FD講演会・研修会の開催

「教育改革推進プロジェクトならびに学部FD報告会」「基礎力測定テスト「PROG」の結果報告」「シラバスに関するFD」

c 開催状況（教員の参加状況含む）

＜令和6年度の実績＞

1. 「シラバスに関するFD研修会」（対面、オンライン併用）

2025年2月19日(水) (126名)

2. 「教育改革推進プロジェクト事業報告会ならびに学部FD報告会」（オンライン開催）

2025年3月26日(水) (124名)

3. 「基礎力測定テスト「PROG」の結果報告」（オンライン開催）

2025年3月26日(水) (117名)

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. FD講演会等を通して教育改善や新たな教育実践の取組に繋がる情報を発信し、学内での情報共有を図ると共に改革の促進に努めた。

2. 授業評価の分析をもとに、教育内容の課題の明確化、各教員の授業改善の促進

3. 厳格な成績評価の課題の明確化と多様な評価方法の検討と授業改善の促進

4. 高等教育を取り巻く動向や課題についての情報発信と課題解決に向けた方策検討の促進

5. 教員に必要な教育力の向上に向けての支援促進

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・毎年度前期・後期の終盤に実施（授業アンケート）大学院文学研究科は年度末

b 教員や学生への公開状況、方法等

・各教員には個別集計結果を返却し、教員は考察シート（個人分析と改善点を記載）を作成する。

・学生には大学全体・学部学科集計はホームページで、科目別集計結果は学内専用ページで公開している。

ただし、大学院文学研究科は履修生も少ないことから、学生には各教員よりフィードバックを行っている。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は、人が生涯にわたり心身的及び社会的に健康で豊かな生活を送るために、心理学及び社会福祉学を通して必要な知識及び社会生活スキルを修得し、多角的視点から社会に貢献できる人材を養成することを目的としている。

本年度としては、設置の趣旨・目的を遂行すべく計画通り実施しており、入学者については45名を確保することができた。今後は、定員充足を目標に入学者を確保するとともに設置計画の着実な履行に努める。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・自己点検・評価については、原則として3年ごとに実施する自己点検・評価と毎年実施する自己点検・評価に区分して実施し、自己点検評価書（自己点検・評価報告書）を作成している。

なお、本学科に関する評価内容を含む報告書については、本年度（令和7年度）より実施し、令和8年3月に公表予定である。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開（令和8年3月に公表予定）

なお、令和6年度については、「2024年度自己点検・評価報告書」を令和7年4月に公表している。

③ 認証評価を受ける計画

・令和12年に評価機関（公益財団法人 日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定である。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有]

« a で「有」の場合 »

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 · 公表後2~3ヶ月以内 · 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 · その他 ()]

« a で公表「無」の場合 »

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。